

**iCON**  
pro audio



# P1-M

Professional USB-MIDI Control Surface

DAW コントローラーの未来がやってきました。  
革命へようこそ！

輝いている星である中型 MIDI DAW の制御表面を展示している P1-M には 16 パネル、プログラマブルデジタルタッチパネル、複数の同時 DAW 制御、はっきりして明るい LED チャンネルテーブル、極めて先進的なソフトウェア、挿入しやすい制御及び直感的でインテリジェントな設計を備えています。拡張性、信頼性、適応性のある P1-M は今、主流となっています。



User manual





電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになつたあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICON製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがつた使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

### 安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

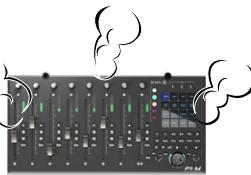
### 故障したら使わない

本体やACパワー・アダプター、充電器などの動作がおかしくなったり、破損しているのにお気付きの場合はすぐにお買い上げ店またはアイコンサービス窓口に修理をご依頼ください。

### 万一、異常が起きたら

- ① アイコンサービスセンター
- ② USBケーブルを抜く
- ③ お買い上げ店またはアイコンサービス窓口に修理を依頼する

変な音・  
においがしたら、  
煙が出たら



### 警告表示の意

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じることがあります



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の器具に損害を与えることがあります。

注意を促す  
記号



行為を禁止  
する記号



行為を指示  
する記号



下記の注意事項を守らないと火災・感電により  
死亡や大けがのとなります。

### 分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。絶対に自分で分解しないでください。内部の点検や修理はお買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご依頼ください。

### 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。この機種は防水構造にはなっていませんので、水中や雨天での使用はできません。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワー・アダプターや充電器をコンセントから抜いてください。電池を使用している場合は、すぐに電池を取り出してください。そして、お買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご相談ください。

# 内容

はじめに .....	4
付属品をご確認ください .....	4
お客様のアカウントで ICON Pro Audio 製品をご登録ください .....	5
機能 Pt.1 .....	6
機能 Pt.2 .....	7
上面パネルレイアウト .....	9
背面パネルのレイアウト .....	14
P1-M 入門 .....	15
iMAP の DAW ボタンに DAW を割り当てる方法 .....	16
について .....	16
日常使用で P 1-M を起動する .....	20
Mac 用 iMap™ のインストール .....	21
Windows で iMap™ ソフトウェアをインストールする端末を登 .....	24
The iMAP™ .....	26
iMap™ のその他の機能 .....	34
ファームウェアアップグレード .....	35
Ableton Live .....	38
Audition .....	39
Bitwig .....	40
Cakewalk .....	41
Cubase/Nuendo .....	43
Digital Performer 11 .....	44
FL Studio .....	45
Logic Pro .....	46
Luna .....	47
Mixbus 32C .....	48
Pro Tools .....	49
Reaper .....	50
Reason .....	52
Samplitude .....	53
Studio One .....	54
Tracktion Waveform .....	55
ハードウェアの接続 .....	56
システムを拡張 .....	57
製品仕様 .....	59
修理について .....	60 3

# はじめに

まず、ICON Pro Audio P1-M MIDI DAW コントローラのご購入おめでとうございます！これらのページでは、P1-M 機能の詳細な説明と完全な仕様リストを見つけることができます

次のリンクのサイトから製品を登録してください：[my.iconproaudio.com/registration](http://my.iconproaudio.com/registration):

他の電子製品と同様、本製品につきましてもご購入いただきました際の梱包材一式を保管していただきますようお願い申し上げます。万一修理のため本製品を弊社に返送していただく場合は、製品ご購入時の梱包材（あるいはそれと同等の梱包材）が必要となります。

本製品は、適切に整備・お手入れをしていただければ、故障することなく末永くご利用いただけます。後日照会させていただくため、シリアルナンバーを下欄に控えていただけますよう、お願い申し上げます。

## 付属品をご確認ください

- P1-M USB C-MIDI コントローラ x 1 個
- Quick Start Guide x 1
- USB C ケーブル x 1
- 電源アダプター x 1



# お客様のアカウントで ICON Pro Audio 製品をご登録ください

## 1. お使いのデバイスのシリアル番号を確認してください

[my.iconproaudio.com/registration](http://my.iconproaudio.com/registration) に進むか、下の QR コードをスキャンします。.



画面に、お使いのデバイスのシリアル番号など、請求された情報を入力します。  
「Submit」をクリックします。

形式番号やシリアル番号などのデバイス情報を表示したポップアップウィンドウが現れます。「Register this device to my account」をクリックします。別のメッセージが表示された場合はアフターセールスサービスチームまでご連絡ください。

## 2. 既存ユーザーの方は、ご自分の個人アカウントページにログインします。未登録の方は新規ユーザーとして登録してください。

既存ユーザーの場合：ユーザー名とパスワードを記入して、個人ユーザーページにログインしてください。

新規ユーザーの場合：「Sign Up」をクリックして、情報をすべて記入してください。

## 3. 役に立つ資料をダウンロードする

このページのアカウントに、登録済みデバイスがすべて表示されます。製品ごとにドライバ、ファームウェア、各言語版のユーザーマニュアル、バンドルされたソフトウェアなどが表示されるので、これらをダウンロードすることができます。

# 機能 Pt. 1

中型 DAW コントローラの利便性、サイズ及び更新され続けている機能と信頼性のため、世界におけるベテランのミキシングエンジニアとメーカーは古くて大きなシステムからその中型 DAW 制御器に変えています。今までなかった機能レベルの他、ものすごく安定している Cortex-M7@500 MHz ARM チップの拡張性、信頼性がこのサイズと値段の設備に斬新な視野を広げています。P1-M はこのマーケットに今までないほどの巨大な影響をもたらしてきています。現存の中型 DAW 制御器使用者もこの豊かな機能に惹きつけられます。これを革命だという人もいますが、確実に革命と言えるでしょう

P1-M はプログラミング可能な 16 パネルタッチパネルで突破的な機能を実現しています。録音、ミキシングまたはマスタ作成プロセスにあらゆる必要な DAW 機能を備えていて、すぐスタジオ設備の核となるでしょう。

五つのカラーのパターン（青、緑、オレンジ、紫と赤）を通じて、この魅力的なカラーコーディングタッチスクリーンディスプレイに 80 もの DAW 機能を割り当て、八つの無騒音、滑らかで繊細なロータリエンコーダを使って調整（EQ か挿入に使うか）を行い、これらのエンコーダは PAN ノブとしても使えます。

P1-M では、最大 3 台の DAW を同時に接続することができるようになりました！メインのプロジェクトが入っている場合、例えばプロツールだとしますが、すぐに Cubase に戻って撮影する必要があります - 問題ありません ! P1-M は、ボタンに触れるだけで、遅延や煩わしさなく、文字通りこれを実現することができ、あなたやあなたのワークフローを中断することはありません。

ジョグホイールによるプラグインコントロールで、プラグインのパラメーター\*を選択し（「フォーカス」を押す）、ジョグホイールの滑らかで滑るような動作で調整することができます。この機能は、プラグインや EQ をインタラクティブにコントロールするのが好きな人（嫌いな人はいないでしょう！）のお気に入りになる可能性が高いです。

\* 各プラグインで対応していない場合があります。

このインテリジェントで直感的、コンパクトで魅力的なユニットは、誰の美的および空間的要件にも適合します。P1-M のプロフェッショナルな感触、デザイン、機能性は、あなたを音楽に近づけ、ワークフローを改善し、体験を高めます P1-M は、直感的でユーザーフレンドリーな新世代の iMAP™ によってサポートさ

れています。16 パネルタッチスクリーンの 5 色モード（合計 80 の可能な機能）で DAW 機能がどのように表示されるかを完全に再配置し、MIDI 機能とキーボードのホットキーもマッピングします！すべてリアルタイムです！データは瞬時に送信されるため、手動で「送信」する必要はありません！

きれいで明るい車載 LED 監視コントロールは正確な DAW の読み取りを反映しています。これらのメーターは人体工学も配慮し、設備の上部エリアに取り付けているため、いつまでもメーターが見えるようにしています。

オプション D-4T 表示ユニットを通じて、P1-M はプロジェクトを制御しなすことができます。オプションの P1-X 拡張器と D-4 表示ユニットで拡張できルため、世界はあなたに属します。みんなの審美と機能需要にはこのインテリジェント、直観的で、魅力的なユニットが満足します。プロフェッショナルの感覚、設計と機能を持つ P1-M は音楽に近づさせ、仕事のプロセスを改善し、体験感を高めてくれます。革命へようこそ。

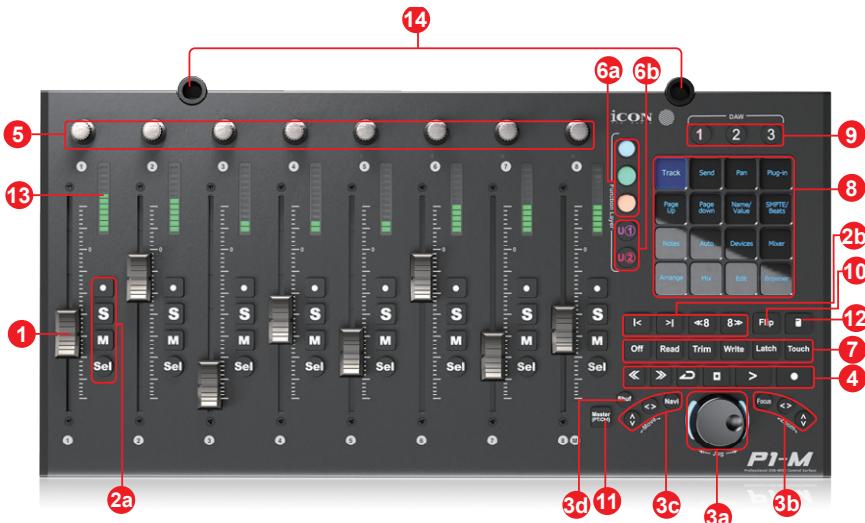
## 機能 Pt.2



- 12 ビットの解像度を持つマスター・チャンネル用 8 タッチセンス付きモータライズ フェーダー
- プログラマブルな 4 インチ 16 面デジタルタッチディスプレイで、DAW の機能を 5 つのカラーモードごとに表示します 表示可能・操作可能な全 80 機能
- iMAP の「ドラッグ & ドロップ」で簡単に DAW 機能を 16 パネルタッチスクリーンに整理 - リアルタイムで変更することができます。
- DAW セレクトボタンで 3 台の DAW に同時接続可能です。
- 非常にコンパクト、頑丈、かつ多目的
- 正確ではっきりしていて魅力的な TFT メーター
- スムーズな動作のジョグホイールシャトルで、高速サーチ、スクラブ、コントロールが可能です。
- デュアル機能エンコーダーつまみ(入力して回す)8 個
- 「読み出し」「書き込み」「タッチ」「ラッチ」「トリム」「オフ」のイルミネーション機能ボタン - DAW ごとに必要に応じて有効 / 無効を切り替えられます。
- ミュート、ソロ、録音などのチャンネルコントロール用の照光ボタン
- 再生、停止、録音、巻戻し、早送り、ループを含む、照明式トランスポート・ボタン 6 個
- フェーダーフリップとマスター・チャンネルにアクセスするための専用の「フリップ」ボタンと「マスター」ボタン(チャンネル 8 が主要チャンネルとなります。)
- ジョグホイールと併用される 2 つの方向キーを備えた、照明付き「Zoom」ボタン
- 点灯した「フォーカス」ボタンにより、ユーザーはスムースアクションのジョグホイールを介してプラグインや EQ パラメータなどに「フォーカス」し、調整できます。
- 各チャンネルが簡単に選択できる照明付き「Track」ボタン、2 個
- 一度に 8 個のチャンネルを切り替える照明式「Bank」ボタン 2 個
- 互換性のある音楽制作ソフトウェアとシームレスに統合するためのユニバーサル Mackie Control および HUI プロトコルをサポート

- アビリティ、オーディション、アブレトンライブ、ビットウェーブ、ケークウォーク、キューベース / ヌエンド、デジタルパフォーマー、FL スタジオ、MIX バス 32 C、プロツール、ロジックプロ、リーパー、リーズン、サンプリチュード、スタジオワン、トラクションウェーブフォームにサポートします。
- iMap™ ソフトウェアを含む
- 高速 USB C 対応
- USB C 接続と iMap ソフトウェアで簡単にファームウェア・アップグレードが可能。
- ユーザー A とユーザー B フットスイッチペダル接続用 1/4 インチ入力
- MacOS 10.15 or above & Windows 10 以上に対応
- 製造品質に優れた、Kensington ロックポート搭載の堅牢なメタルケーシング
- D-4T 表示ユニットを拡張可能、完全制御を実現
- P1-X 拡張器ユニットで拡張（ユニットごとに 8 チャンネルあり）
- P1-X の D4 表示ユニットで拡張可能

# 上面パネルレイアウト



**注意:** P1-M は、ユニバーサル DAW コントローラ (すなわち、特定の DAW 向けに設計されたものではない) です。DAW 間で機能の動作が若干異なります。各機能については DAW マニュアルをご参照ください。

## 1. Faders

8つの電動フェーダーは、一般的に DAW のトラックボリュームを制御するために使用されます。DAW によっては、"flip" ボタンを使用して、ロータリエンコーダーとフェーダー機能を交換することができます。これは、ロータリーエンコーダを使用して一般的に実行されるパンやプラグインのパラメーター値を非常に複雑に動かす場合に便利です。12ビットの解像度のフェーダーは、非常に細かい動きが可能です。

プロジェクトに録音されたオートメーションはすべて、フェーダー位置に反映されます。すべてのフェーダーはタッチセンシティブで、ユーザーはフェーダーにタッチした瞬間にオートメーションをオーバーライドできます。.

選択「マスター」ボタンを選んでチャンネル 8 を主要チャンネルにする (Pro Tools を除く)。

## 2. 録音チャンネルコントロールボタンセクション

### 2a) 録音チャンネルコントロールボタンセクション

**REC (録音) ボタン** - 対応するチャンネルの録音状態をオンオフします。チャンネルが録音状態になると、スイッチが赤く点灯します。

**SOLO (ソロ) ボタン** - 対応するチャンネルのソロ状態をオンオフします。チャンネルのソロ状態がオンになると、スイッチが緑色に点灯し、それ以外のチャンネルがミュートされます。

**MUTE (ミュート) ボタン** - 対応するチャンネルのミュート状態をオンオフします。チャンネルがミュート状態になると、スイッチが青く点灯します。青く点灯したチャンネルがミュートされます。

**SEL(選択)ボタン** - チャンネルを選択するために使用されます。

## 2b) モーター式フェーダーコントロールボタンセクション

**Fader < ボタン** - フェーダーの「1」チャンネルを左にシフトします。

**Fader > ボタン** - フェーダーの「1」チャンネルを右にシフトします。

**BANK UP (バンクアップ) ボタン** - すべてのボリュームコントローラの「1」を下に移動

**BANK DOWN (バンクダウン) ボタン** - すべてのボリュームコントローラの[1つ](One)領域を上に移動

## 3. ジョグホイールセクション

### 3a) ジョグホイール - ジョグホイールは、シャトルやスクラブ機能など、

DAW アプリケーションに特有のさまざまな目的に使用されます。ボタンを押すと、DAW 固有の 2 つの機能を切り替えることができます。段差のないインクリメンタルデザインで、滑らかで騒音のない贅沢な着用体験を実現します。

### 3b) ズームコントロールボタンセクション

**Zoom アップ / ダウンボタン** - ズームアップ / ダウンボタンは、DAW アプリケーションのグラフィカルユーザーインターフェース (GUI) を上下に移動するために使用されます。ロータリーで制御可能。

**oom 左 / 右ボタン** - T 左 / 右ボタンは、DAW アプリケーションのグラフィカルユーザーインターフェース (GUI) を左右に移動するために使用します。ロータリーで制御可能。

**フォーカス** - 「フォーカス」を押し、マウスでプラグインパラメータにカーソルを合わせ、ジョグホイールをデバイスとして使用してパラメータを変更します。

### 3c) 移動と方向ボタン

「Navi(ナビ)」ボタンを押してロータリーを回してチャンネルでナビする。

方向ボタンを選択して進行方向を決定し、DAW の配置ウィンドウで軌道を上下にナビゲートし、ローラーを使用してミキサービューで軌道を左右にナビゲートします。またこれらのボタンとジョグホイールを組み合わせて、アレンジメントウィンドウのオーディオセグメントなど、DAW の要素をナビゲートすることも可能です。

### 3d) Shuffle ボタン

このボタンを押してロータリーを回転して、8 つのチャンネルグループでナビできる。。これにより、チャンネルを高速に移動できます。

## 4. トランスポートコントロールボタンセクション

**PLAY(再生)ボタン** - DAW の再生機能を起動します。

**STOP(停止)ボタン** - DAW の停止機能を起動します。

**REC(録音)ボタン** - DAW の録音機能を起動します。

**REWIND(巻戻し)ボタン** - DAW の巻戻し機能を起動します。

**FAST FORWARD(早送り)ボタン** - DAW の早送り機能を起動します。

**LOOP(ループ)ボタン** - DAW のループ機能を起動します。

## 5. デュアル機能エンコーダー

8つの平穏、無声、デュアル機能を備えたエンコーダーは、プッシュボタンとロータリーコントロールとして機能します。エンコーダーを押すと、動作モードを変更できます。エンコーダーを回転させると、割り当てられた機能に応じて、チャンネルのパン、センドレベル、プラグインパラメーターを調整できます(DAW ソフトウェアが許す限り)。ノブの押すアクションは DAW 内の操作モードを変更するために使用でき(これは DAW に依存します)、ノブの回転アクションは PAN、EQ、プラグインの値などのパラメータを変更するために使用できます。

## 6. 色分けされた機能ボタン (5つのボタン)

**6a)** - T この 3 つのコントロールボタンのセクションは、各レイヤーの異なる機能のために LED カラーコード化されています。16 パネルのタッチスクリーンに表示される異なる機能に対して、カラーモード (6b と一緒に) を切り替えることができます。機能は、iMAP で独自の設定にアレンジすることができます。

**6b)** - T この 2 つのコントロールボタンのセクションは、各レイヤーの異なる機能のために LED カラーコード化されています。16 パネルのタッチスクリーンに表示される異なる機能に対して、カラーモード (6a と一緒に) を切り替えることができます。機能は、iMAP の中で独自の設定にアレンジすることができます。

デフォルトでは、紫と赤のモード ('u1'(ユーザー 1) と 'u2'(ユーザー 2) と標記) がタッチスクリーンで設定され、ホットキー機能 (Ctrl+C=copy) が使用されます。他の 3 つのモードは「MIDI」機能に設定されています(図の「画面移動」など)。

独自の「ホットキー」機能を保存したいユーザーは、紫と赤モード (u [ser] 1 と u [ser]2' ボタンを使用) で保存できます。

これは、ユーザーがプログラミングを整理するのを助けるためです。必要に応じて、MIDI 機能を任意のカラーモードに、ホットキーを任意のカラーモードに割り当てることができます。お客様次第です。

## 7. 専用ファンクションボタン

**リード** - リード機能の有効 / 無効

**ライト** - ライト機能の有効 / 無効

**タッチ** - タッチ機能の有効 / 無効

**ラッチ** - ラッチ機能の有効 / 無効

**トリム** - トリム機能の有効 / 無効

**オフ** - オフ機能の有効 / 無効

P1-M はユニバーサルコントローラーなので、これらは DAW によって点灯したりしなかったりします。例えば、キューベースでは後半の 4 つのボタンは点灯しませんが、ビットウェイブでは後半の 2 つのボタンは点灯しません。これは、P1-M のインテリジェントなデザインの一部です。

## 8. 16 パネルタッチスクリーンディスプレイ

P1-M のピース・オブ・レジスタンスです！DAW のコントロール機能をイルミネーションで表示し、ユーザーが簡単にアクセスできるようにした 16 パネルのタッチスクリーンです。16 パネルのディスプレイは、5 つの異なるカラーモードで機能を表示できます（6 項）。つまり、驚異的な 80 の機能にタッチスクリーンから簡単にアクセスできます。これらはデフォルトの状態のままにしておくことも、ユーザが iMAP ソフトウェアにロード、配置、再配置することもでき、必要なすべての機能を指先で、必要な場所に配置することができます！

スムーズな動作のロータリーコントローラーで、適切な機能パラメーターを変更することが可能です。

例を挙げると、キューベースで編集を選択し、選択したトラックのチャンネル設定を読み込み、チャンネルの EQ 設定を変更する EQ を選択します。ページアップ (PAGE UP) とページダウン (PAGE DOWN) を使用してパラメータページとロータリーエンコーダをナビゲートし、ゲイン (Gain)、周波数 (Frequency)、Q の値を変更します。



## 9. DAW セレクター ボタン

接続する DAW を DAW ボタン 1~3 で選択します。DAW は事前にセットアップして設定しておく必要があります (15 ページ 「P1-M をお使いになる前に」を参照)。iMAP で接続する DAW を変更できます (s 「DAW ボタンへの DAW の割り当て方法」を参照)。

## 10. フリップ

フェーダーと 1 台目のロータリーコントローラーの機能を「フリップ」するボタンです。これは、ロータリーエンコーダではなく、フェーダーを使用して PAN やプラグインのパラメータ値に非常に複雑な変更を加える必要がある場合に最適です。

## 11. プライマリ / アサイメント

このボタンを選んでチャンネル 8 の減衰器を主要減衰器に切り替えられます。

## 12. ロック

このボタンを押すと、物理的なフェーダーの動きに関係なく、関連するチャンネルのフェーダーレベルが変化しないようにします。変更を加えるには、このボタンを押してチャンネルの「ロックを解除」する必要があります。

P1-X 拡張器を使用する場合、ロックボタンは iMAP™ を介してリアルタイムで通信します。iMAP™ はユニット間のブリッジとして機能します。P1-X のフェーダーも同様に影響を受けます。

## 13. チャンネル LED メーター

八つの 12 区切り LED メーターが関係チャンネルのレベルを表示。

## 14. D-4T ソケット

D-4T ディスプレイユニットの「脚部」を収納するためのソケットです。D-4T ディスプレイユニットは、ユーザーの体験を大幅に向上させます。D-4T ユニットがない場合、ユーザーがたとえばプラグインの変更に影響を与えたいたい場合、DAW 自体またはより小さいオンボードのディスプレイでパラメータの変更などを観察することができます（表示される情報は DAW に依存します）。



# 背面パネルのレイアウト



## 1. USB C ポート

お使いのコンピュータと互換性のあるソフトウェアへの MIDI ポートとして機能します。

## 2. ユーザー A およびユーザー B 用 1/4 inch コネクター

この 1/4 inch コネクターにフットペダルを接続すると、そのフットペダルを使って、選択した機能を起動することができます。そのパラメータを設定するには、Mackie コントロールモードで、ユーザー A またはユーザー B のパラメータを選択します。

## 3. 12 v /2.5 a 電源アダプタポート

付属の電源アダプタを接続します。

(**注意**: 付属の電源アダプタを接続しないと、P1-M は動作しません。コンピュータからの usb バスは電源不足になる)。

## 4. D-4T 表示ユニットコネクタ

付属のケーブルを使用して、オプションの D-4T モジュールをこのコネクターに接続します。D-4T は、デジタルメーターだけでなく、DAW に依存する様々な情報を表示します。D-4T TFT は、プラグインや EQ のパラメーター調整を簡単にし、DAW とにらめっこすることなく、DAW コントローラーと対話することを可能にします！



# P1-M 入門



## 1. USB ポートを介して P1-M を Mac/PC に接続します。

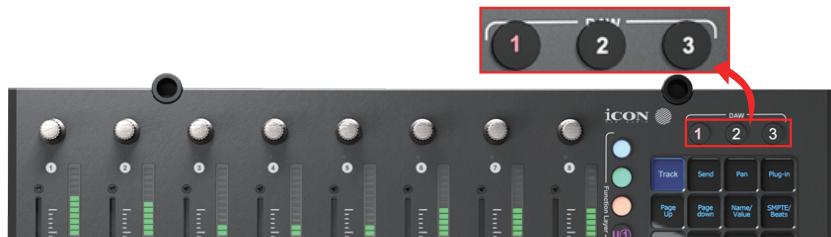
Mac/PC で USB ポートを選択し、USB C ケーブルを挿入します。ケーブルのもう一方の端を P1-M に接続します。開けて！ Mac/PC は新しいハードウェアを自動的に「検出」する必要があります。

## 2. 接続したい 3x の DAW を iMAP に設定する

A) 「iMAP」セクションのインストールを。

B) 以下の図に従ってください。これらの例を P1-M に設定する DAW として使用してみましょう。

DAW #1	Bitwig
DAW #2	Cubase
DAW #3	Logic



右 DAW ボタン（上記）に右 DAW を割り当てたい場合は、iMAP を使う必要があります。

まず、iMAP がダウンロードおよびインストールされていることを確認し、次のセクションをお読みください。

# iMAP の DAW ボタンに DAW を割り当てる方法について

ページの iMAP の項目で詳しく解説していますが、ここでは一般的な紹介をします。

一般的な原理を理解するために、P1-M のボタン 1、2、3 をそれぞれビットウィッグル、キューベース、ロジックプロに割り当てるにします。ですから、下図で「1」を選んだので、メニューから「Bitwig」を選びます。



さて、iMAP のダウンロード、インストール、開封が完了しましたね。iMAP の上部に 3 つの DAW ボタンがあるのがわかると思います。これらは、P1-M の 3 つの DAW ボタンに対応しています。

対応するボタンを選択し、ドロップダウンリストから DAW を選択するだけです。

DAW は自動的に割り振られます。データを送信したり、特別な機能を実行する必要はありません。

iMAP/P1-M の 3 つのボタンすべてに対して、この操作を行うことができます。

16 パネルのタッチスクリーンにコマンドや機能を割り当てる方法、MIDI マップコマンド、さらには QWERTY ホットキーを P1-M に割り当てる方法など、これに関する詳細や iMAP の使用方法については、45 ページの iMAP セクションを参照してください。

日常的な使用では、使用する DAW を起動する前に、必ず IMAP を起動してから P1-Nano を起動する必要があります。

## 覚えておいてください

ステップ 1: コントローラを開く

ステップ 2: 開く iMap™

ステップ 3: 使用する DAW/s の起動

簡単に覚えたり、

Controller iMAP DAW/s (CID!)

(「I Can Do (It)!」と覚えやすいようにフレーズを関連付けたい場合があります)

**注意:** 各ステップが完全にロードされていることを確認するために、各ステップ間で数分待ってください。

## P1-M を DAW にセットアップする

iMAP 内に 3 つの DAW を割り当てたので、P1-M が DAW を認識し、DAW/s が P1-M を認識するように DAW を設定する必要があります。

これがその方法です；



**注意：** MIDI ポート 4 は、iCON Pro オーディオソフトウェア iMAP™ で使用され、使用する 3 つの DAW の変更、ファームウェアの更新、および 16 パネルタッチスクリーンへの任意の機能のプログラミングに使用されます

4 つのオプションがメニューとして表示され、選択した DAW を選択できます。

ですから、私たちの事例を思い出しつつ；

DAW #1	Bitwig
DAW #2	Cubase
DAW #3	Logic

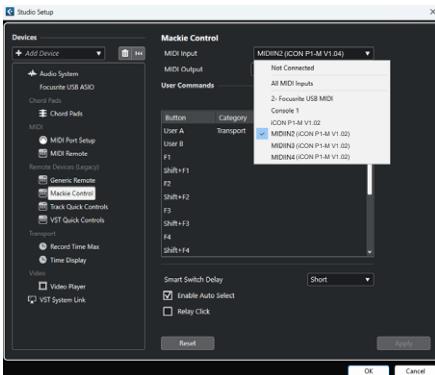
ビットウィッグで「P1-M V1.02」（またはそのファームウェアのバージョン\*）を選択する必要があることは、それが DAW #1 に選択した DAW であるため、わかっています。本体の DAW #1 を押すと、P1-M は自動的にビットウィッグモードに移行します。

例では、キューベースは 2 番目の DAW であるため、P1-M で動作するように DAW を設定する場合は、メニューで「MIDIIN 2 (P1-M V 1.02' またはファームウェアバージョンのどちらか\*)」を選択する必要があります。キューベースで P1-M を Mackie コントロールデバイスとして設定している場合、DAW コントローラー選択部で「2」を押すと、P1-M が自動的にキューベースを選択します。

ロジックも同様ですが、今回は「MIDIIN3 (P1-M V1.02)」（またはそのファームウェアバージョン※）を選択し、DAW コントローラー選択エリアのボタン「3」で、この DAW を自動的に選択するようにします。

\* ファームウェアのバージョンは、時間の経過とともに更新されます

ここでは、キューベースでの設定例を紹介します。



ご覧のように、デバイスを Mackie コントローラとして設定する場合、4つの選択肢があります。P1-M の DAW コントロールボタン「2」に反応するようにキューベースを設定しているので、「MIDIIN2 (P1-M V1.02)」を選択します。

また、キューベースの MIDI リモートマネージャではなく、キューベース 12 以降のデバイスのセットアップには通常の方法で Mackie コントロールを使用する必要があることに注意してください(ただし、これはキューベースに固有のものです)。使用しているサポートされている DAW に関する情報はほぼ同じです。

ここまで、iMAP でお好みの P1-M DAW ボタン(1-3)に DAW を割り当てる方法と、原則として対応する MIDI ポートに DAW を設定する方法(前述)について説明したので、次のセクションで DAW/s の設定に進みます。

### 私たちが前進し続ける前に、覚えておきましょう CiD;

ステップ 1: コントローラを開く

ステップ 2: iMap を開く

ステップ 3: 使用する DAW/s を起動する

**注意:** 各ステップが完全にロードされていることを確認するために、各ステップ間で数分待ってください。

この手順の順序は、次の図から分かるように、iMAP は MIDI ポート 4 を有効に通信するために占有しなければならないからです。残念なことに、起動時に自動的にポートを占有しようとする DAW があり、iMAP が正常に動作しないようにします。そのため、MIDI ポートを占有していることを確認するには、まず iMAP を開く必要があります。



## DAW モードの実用的な使用法

ボタン DAW # 1 と DAW # 2 など、同じ DAW の 2 つのインスタンスを使用したいユーザーもいるかもしれません。どうして？一緒にフェルナンドについての話をみましょう。フェルナンドは新進気鋭のプロデューサーで、ミュージシャンで、自身の素材をマスターするのも好きな人です。

フェルナンドは日常的に cubase を DAW として録音に使用しています。彼は cubase にロードするテンプレートを設定し、録音やミキシング時に DAW ボタン #1 を押すとお気に入りの cubase コマンドをすべてロードする P1-M のタッチスクリーンも設定しています。

しかし、フェルナンドはマスタリングを行う際、最終的なミックスステレオファイルを cubase のマスタリングテンプレートにインポートします。これはまったく別のタスクであり、異なるアプローチが必要なため、彼は cubase でマスタリング目的のために異なるコマンドを編成し、DAW ボタン #2 を押したときにロードします。

フェルナンドは非常にロジック的です。彼は遠くに行くでしょう。

これは、同じ DAW を P1-M に 2 回または 3 回ロードしたい理由のほんの一例です。

# 日常使用で P 1-M を起動する

P1-M を起動するたびに、制御器を先に起動し、そして iMAP を起動し、最後に DAW/s を起動するのです。

iMAP を直接にハードウェアと通信させます。iMAP はハードウェアとだけ通信し、通信スピードと他の要素の影響の回避を確保できます。

また、iMAP は P 1-M マスターユニットと使用可能な P 1-X 拡張器との間の「橋」として機能し、結束力を確保します。例えば、P 1-X 拡張器ユニットと一緒に使用する場合、「ロック」機能は予想通りに動作します。iMAP が接続されていない場合は、接続されません。

もちろん、機能プログラミングを変更したい場合は、iMAP を P 1-M ハードウェアと同時に実行する必要があります

最後に、Controller、iMAP、DAW の順序を使用するのは、iCON Pro Audio ソフトウェア iMAP™ が MIDI ポート 4 を使用して使用される 3 つの DAW を変更し、ファームウェアを更新し、選択した機能を使用して 16 パネルタッチスクリーンをプログラミングするためです。このポートを使用してデバイスに接続することはできません。残念なことに、起動時に自動的にポート 4 を占有しようとする DAW があり、iMAP が正常に動作しないようにします。そのため、iMAP は DAW/s の前とコントローラの後に聞く必要があり、MIDI ポートを占有し、正しく接続されていることを確認します。

## Remember

*Every time you launch the P1-M*

**Controller**

**iMAP**

**DAW**

**ご注意：**以下の例では、接続する DAW を DAW#1 と仮定しています。

# Mac用 iMap™ のインストール

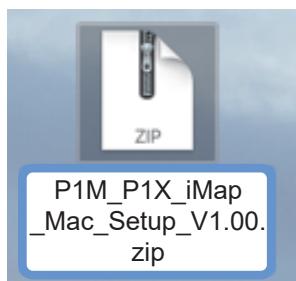
末端を登録し [www.iconproaudio.com](http://www.iconproaudio.com) のパーソナルユーザーセンターで、iMAP をダウンロードしてください。

ダウンロード後、ファイルをクリックするとインストールが開始されます。また、iMAP は、以下の製品ページで公開されます [www.iconproaudio.com](http://www.iconproaudio.com)

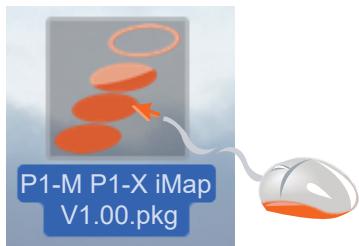
**ヒント：** 「P1-M iMap」アイコンを「Applications」フォルダに「ドラッグ & ドロップ」すると、Macのデスクトップに「iMap」ショートカットを作成できます。

The screenshot shows the ICON Pro Audio website with the navigation bar at the top. Below it, there's a menu with categories like CONTROL SURFACES, KEYBOARDS, INTERFACES, HEADPHONES, MICROPHONES, STUDIO MONITORS, and PROCESSORS. The main content area features a large image of the P1-M interface. Below the image, the text "P1-M" is displayed, followed by a serial number "K7IK3rlf...". To the right of the serial number is a red button labeled "Unregister this device". Further down, there are two download links: "The latest iMap for MacOS V1.00" and "The latest iMap for Windows V1.00", each with its own "Download The Latest" button.

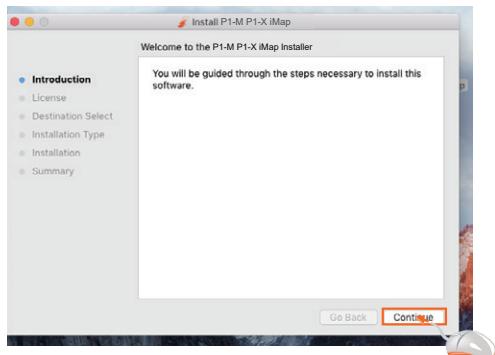
1. お使いのデバイスのユーザーセンターから iMAP™(Mac) をダウンロードします。(ユーザーセンターの作成については、P.5 「ICON Pro Audio 製品を個人アカウントに登録する」を参照してください)。



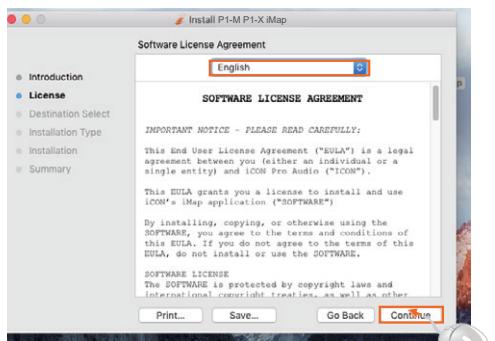
2. ファイルをクリックして解凍してください。



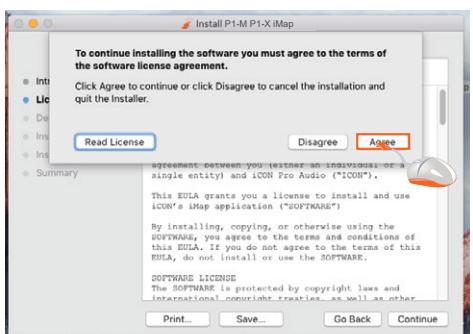
### 3. 「続行」をクリックします。



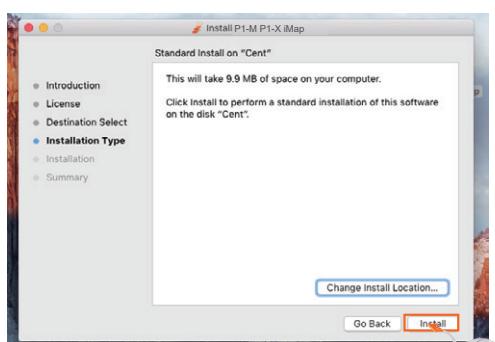
### 4. ライセンス契約を読む。「続行」をクリックします。



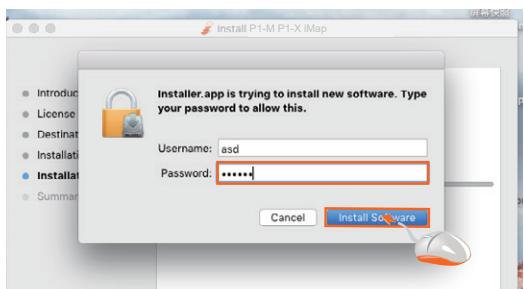
### 5. 「同意」をクリックしてライセンス条項に同意します。



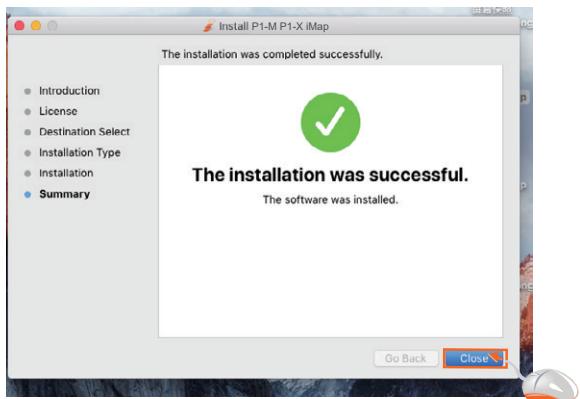
### 6. 「インストール」をクリックします。



7. ユーザー名とパスワードを入力します。"ソフトウェアのインストール"をクリックします。



8. iMAP ソフトのインストール後、「閉じる」をクリックします。



9. ショートカットをクリックすると、iMAP が起動します。



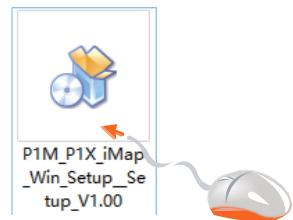
# Windows で iMap™ ソフトウェアをインストールする端末を登

端末を登録し、[www.iconproaudio.com](http://www.iconproaudio.com) のパーソナルユーザーセンターで、iMAP をダウンロードしてください。iMAP は、ウェブサイトの製品ページでも入手できます [www.iconproaudio.com](http://www.iconproaudio.com)

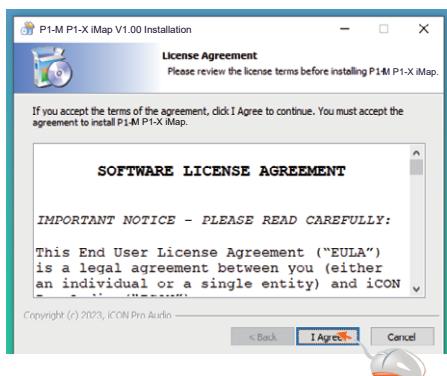
次の手順に従って、iMap™ ソフトウェアをインストールします。

1. PC の電源を入れます。
2. [www.iconproaudio.com](http://www.iconproaudio.com) の個人ユーザーページから、Windows ドライバをダウンロードします

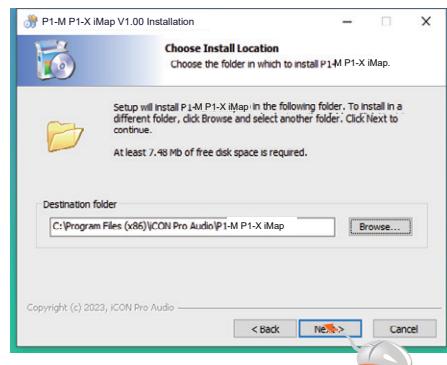
ドライバファイルをダウンロードしたら、そのファイルをクリックしてインストールプロセスを開始します。



3. 設定ウィザードが表示されます。  
セットアップウィザードが表示されるので、ライセンス条項を読んでから「同意する」をクリックしてください。

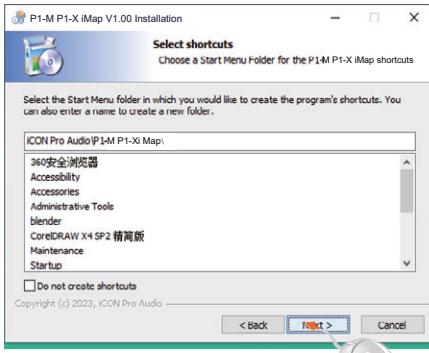


4. インストール場所を選択する  
iMap™ のインストール場所を選択するか、デフォルトの場所を使用して [Next] をクリックします。



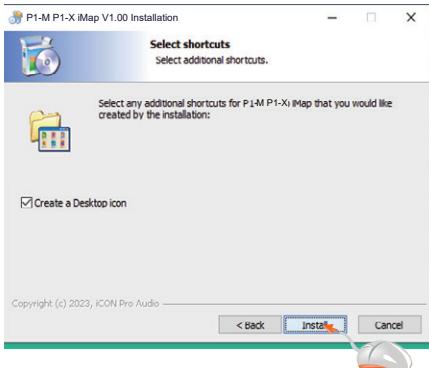
## 5. ショートカットを選択する

iMap™ ショートカットを作成するスタートメニューフォルダを選択します。次に「Next」をクリックしてください。



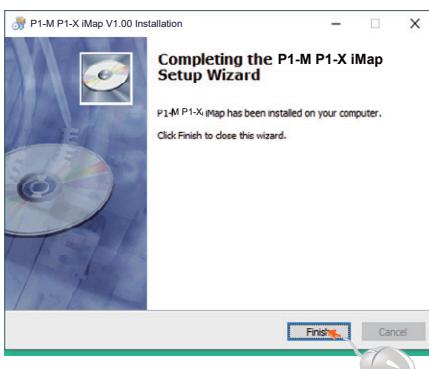
## 6. デスクトップにショートカットを作成する

デスクトップに iMap™ のショートカットアイコンを配置しない場合は、チェックボックスをオフにします。そうでない場合は、「Install」をクリックします。



## 7. iMap™ がインストールを開始する

iMap™ のインストールが開始されました。完了するまでお待ちください。次に「Finish」をクリックします。



## 8. インストールが完了しました

「Finish」をクリックして、iMap™ ソフトウェアのインストールを完了します。



# The iMAP™



新しい非常に先進的な iMap のインテリジェントな設計により、ユーザーはリアルタイムで変更を加えることができ「データ送信」は不要。ユーザーは、iMAP の上部にある 3 つのボタンを使用して、選択した 3 つの DAW を読み込むことができます。

3 つのボタン 1、2、3 のそれぞれについて、ドロップダウンボックスから目的の DAW をクリックしてロードするだけです。

この例では、最初の DAW にビットwig、2 番目にキューベース、3 番目にロジックプロを使用します。まずビットwig を選びましょう。



ボタン 1 をクリックし、ドロップダウンボックスからを選択します。



現在、ビットウィッグモードはすべての機能とともにロードされています。

同じように、ボタン2にはキューベースを、ボタン3にはロジックを読み込ませてみましょう。これらがiMAPの1,2,3のボタンに反映されているのがわかると思います。



## タッチスクリーンのデュアルボタン機能を使用します

いくつかの DAW では、いくつかの機能では、ボタンを押すとさらにアクションが必要になります。これは通常、次のオプションを選択するためにマウスを使用する必要があります。しかし、P1-M では、2つのボタンを同時に使用することができます。

最初に必要な関数をプログラムすることができます - 赤モードで iMAP の最初の行、これを主ボタンと呼びましょう。

その主要なボタン・機能が上記では説明していないように、それ以上の(二次的な)アクションを必要とし、それがその特定の DAW のための iMAP のコマンドで利用可能な場合、この2番目のボタンを、例えば赤モードの2行目に置くことができます。

2つのボタンを同時に使用することはできませんのでご注意ください。

2番目のボタンのオプションが複数ある場合、これらのすべてを二行目に配置することができます(または一行目のボタンと同じ行以外のいずれの行にも配置できます)。2つ以上のボタンを同時に使用することはできませんが、二行目(または選択した行)から選択するためのセカンダリコマンドの「メニュー」を作成することができます。

では、一般的な例を見てみましょう(これは特定の DAW や DAW コマンドに関するものではありません。単にこのシステムの可能性を示すためです);

この架空の DAW の最初のボタン(主要ボタン)は「add track」です。これを iMAP の赤モード(またはレイヤ)の1行目に配置します。情報がリアルタイムで送信されると、これはすぐにデバイスのタッチスクリーンに表示されます。

付随する2番目のオプション(架空の DAW であることを覚えておいてください)については、2行目のボタンに「ステレオオーディオトラック」、「モノラルオーディオトラック」、「楽器トラック」、「MIDI トラック」を配置します。これらは二次ボタンであり、主要ボタンと合わせて使用します。同時に2つのボタンしか使用できません。これらを iMAP に割り当てるとき、再度、情報はデバイスのタッチスクリーンにすぐに送信されます。

プロジェクトの作業時に、マウスを使用せずにトラックを作成するには、主要ボタンを選択し、次に一つの二次ボタンを選択します。

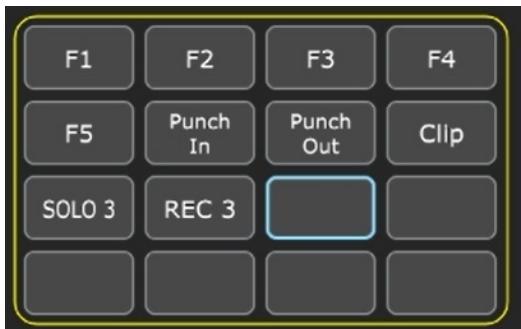
繰り返しになりますが、上の例は架空の DAW についてです。その DAW の利用可能なコマンドによってご自身の DAW が利用できるオプションは、限られていたり、たくさんあったりする可能性があります。

それは本当に便利で時間節約できるデバイスになる可能性があるので、将来的に覚えておくべき素晴らしい選択です!

## ホットキー

QWERTY キーボードの「ホットキー」を iMAP に割り当てることができます。

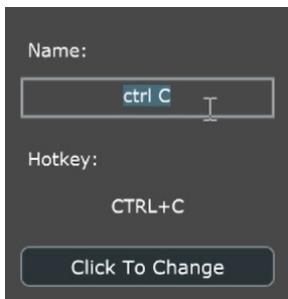
まず、コマンドを実行する位置を選択します。マウスでボタンをクリックし、ハイライトされるようにします。



iMAP 右側のメニューで「HOTKEY」を選択します。



ボタンの内容を変更する場合にクリックします。



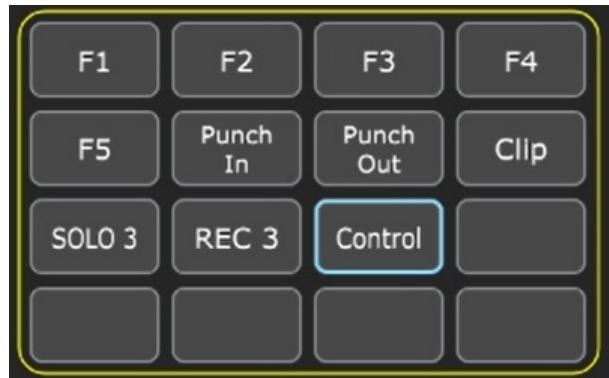
QWERTY キーボードで使用するホットキーを入力します。[エンター] をクリックします。



必要であれば、ホットキーの名前をもっと覚えやすいものに変更します！

整理上の理由から、デフォルトではホットキーは赤と紫のモードで、MIDI 機能は青、緑、オレンジのモードで整理されています。ただし、ホットキーと MIDI 機能をプログラミングして、好きなモードで表示させることもできます。

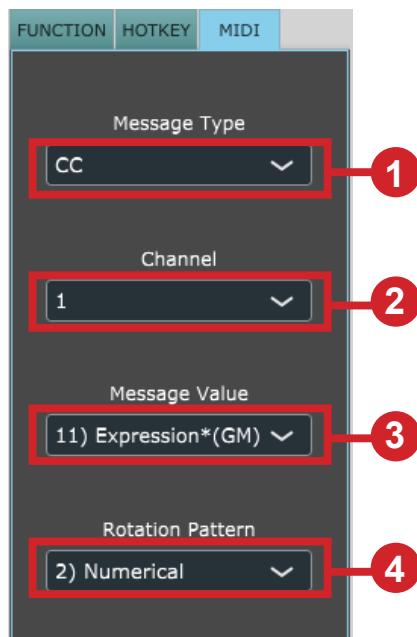
結果は iMAP に表示され、瞬間的に P1-M に送信されます！



## 自分で作った MIDI メッセージを送る

自分の MIDI メッセージを表示するようにタッチスクリーンを設定することもできます。P1-M のフェーダー、ノブ、ボタン、ジョグホイールなどの物理コントロールもこの方法でマッピングできます。

MCP では「ピッチ」「ノート」「CC」「チャンネル」「メッセージ」、HUI では「値 1」「値 2」「機能」の値を、制御要素に応じて調整することができます。



## バーチャルインストゥルメントの使用

DAW コントローラーを使って Virtual インストゥルメントのパラメーターを操作したいというユーザーもいます。最初から、これは完全に DAW であり、Virtual インストゥルメントに依存することに注意する必要があります。一部のバーチャル楽器には、機能が制限されています（ない場合もあります）。

プログラムできる CC 値は様々です。例えば、CC1（モジュレーション）と CC11（エクスプレッション）は最もよく使われるパラメータです。

「ビブラート」には CC 値がなく、そのパラメータが制御したい仮想楽器の機能であれば、MIDI learn でマッピングできる可能性があることに注意してください。MIDI の学習方法については、お使いの DAW のマニュアルを参照してください。

なお、バーチャルインストゥルメントによっては、汎用的な外部コントローラーからの通信を受信する機能が制限されているものがあります

さらに、ジョグホイールをプラグイン、EQ、インストゥルメントのパラメーター コントローラーとして使用することも可能です。「フォーカス」ボタンを押し、該当するパラメーターの上にマウスを置くことで、特にプログラムする必要はありません。これは非常に便利で強力な機能であり、非常にシンプルで簡単に使用できます！間違いなく覚えておくべき機能です！



iMAP上で、スイッチギアを右クリックして 'reset to default' の値(現在のDAWモードの初期値)を設定します。タッチスクリーンも同様にこのようにリセットすることができます。

**Reset to default**

**Remove this DAW**

「bitwig」を使用している場合、エンコーダーを右クリックして「restore to default」を選択すると、すべてのスイッチギア(およびタッチスクリーン)が初期値に戻りますので、ご注意ください。

同様に、別のDAW(DAWボタン1~3)を選択すると、すべてのユーザープログラミングが選択されたDAWのものに「上書き」されます。

## iMAP を使用した輸送機能の変更

iMAP を使用して転送機能を設定することで、複数の DAW で同時に操作を実行することができます。

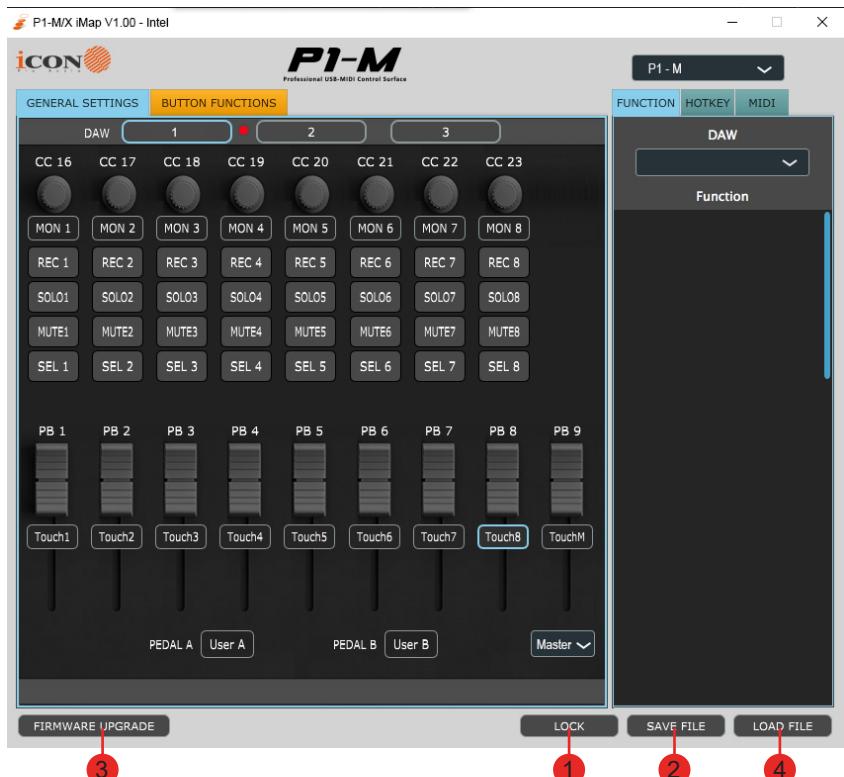
Femi には Cubase と Studio one の 2 つのプロジェクトがあると仮定します。彼女はこの 2 種類のゲームを同時にやりたいと思っている。彼女は 2 つの DAW が PLAY にこのように応答するように iMAP に指示することができる。

同様に、彼女は iMAP にすべての DAW を設定することができます。

次の図は彼女がどうやってそれをするかを示している。



# iMap™ のその他の機能



## 1. 「ファイルの保存」ボタン

このボタンをクリックして、P1-M の現在の設定を保存します。ファイルは「.imap」ファイルです。

SAVE FILE

LOAD FILE

②

④

③

## 2. 「ファイルの読み込み」ボタン

このボタンをクリックして、P1-M 用に以前に保存した「.imap」設定ファイルをロードします。

## 3. 「ファームウェアアップグレード」ボタン

このボタンをクリックして、P1-M のファームウェアアップグレードウィンドウに入ります。ファームウェアのアップグレード手順についてはしてください。

## 4. 「ロック」ボタン

このボタンをクリックすると、タッチスクリーンの設定がそのままロックされます。

# ファームウェアアップグレード

## P1-M 機能ファームウェアアップロードプログラム

**重要注意事項：**P1-M と P1-X を切り替えるには、iMAP の「タイトル」をクリックします。正しいデバイスのファームウェアをアップグレードしていることを常に確認してください。



**警告：** ファームウェアアップロードプロセスは、ファイルのアップロード中に中断しないで完了する必要があります。中断すると、ファームウェアは再書き込みできません。

**ステップ 1：** USB C 接続を使用して P1-M を接続してください。最新の iMAP がウェブサイトからダウンロードされ、インストールされていることを確認します（お使いの iMAP が最新であることを確認してください！）。iMAP を起動します。

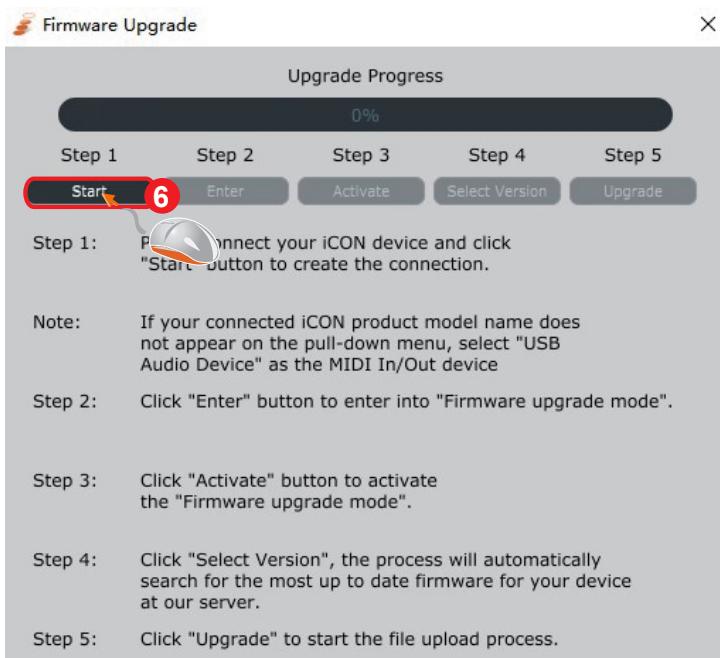
「Firmware update」をクリックします。



## ステップ2: 注意書きを読みます。

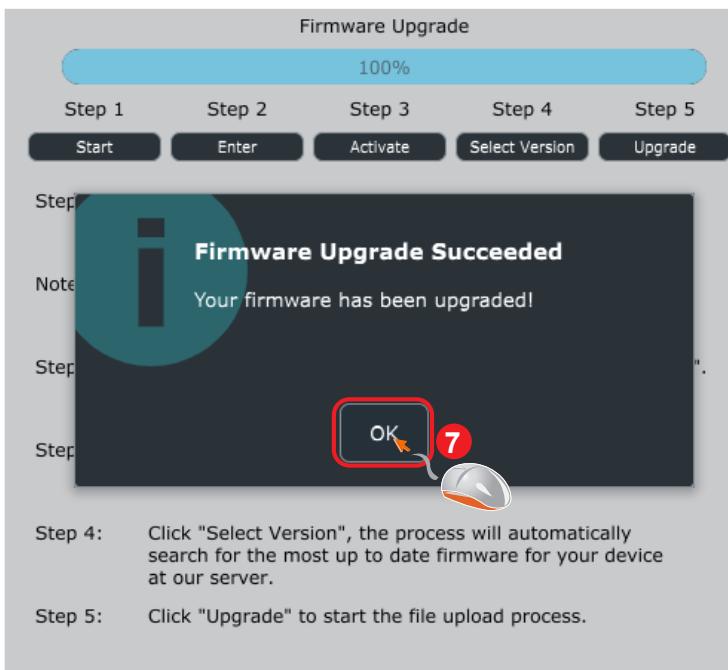


## ステップ3: 「開始」ボタンをクリックします。

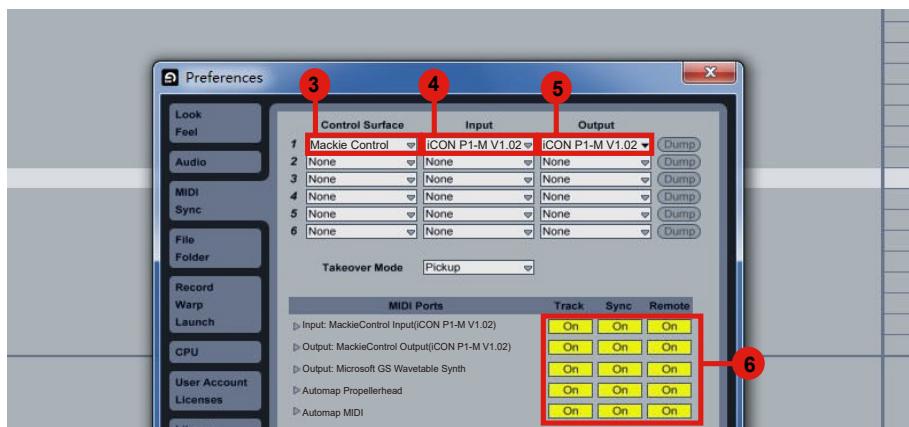
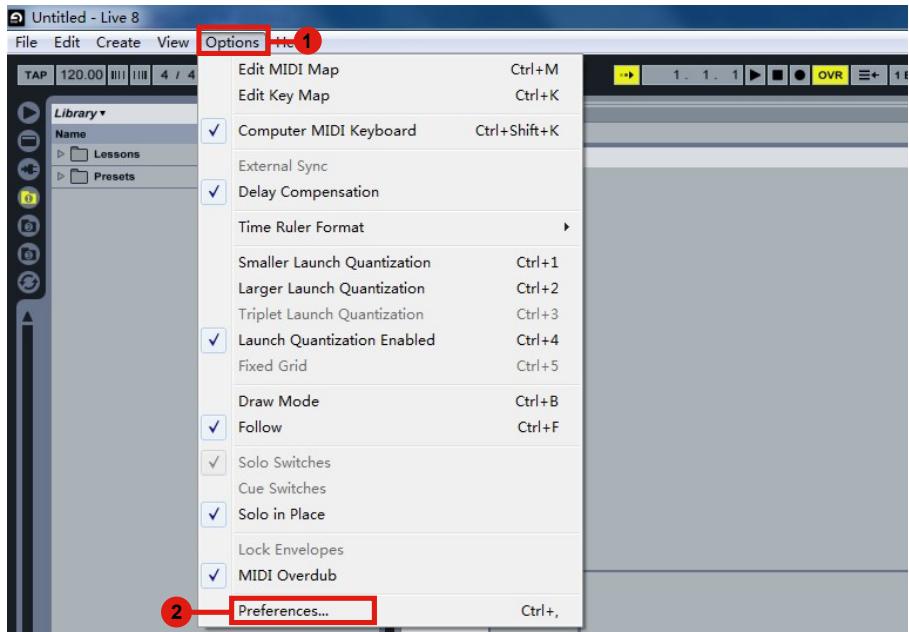


**ステップ4:** ファームウェアのアップグレード処理が完了するのを待ちます。

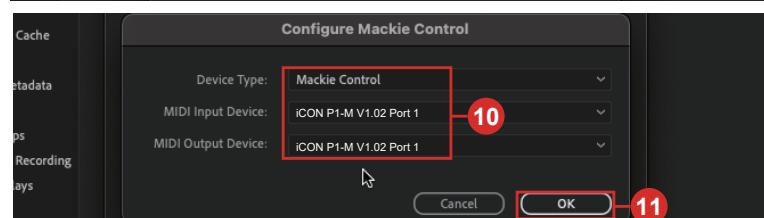
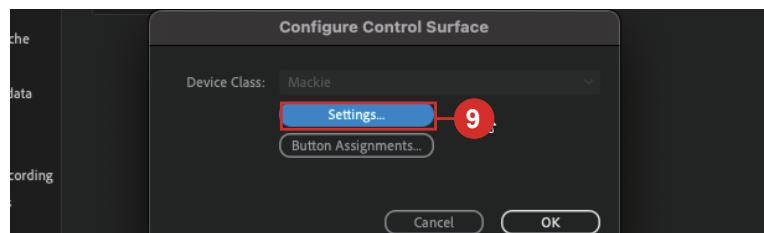
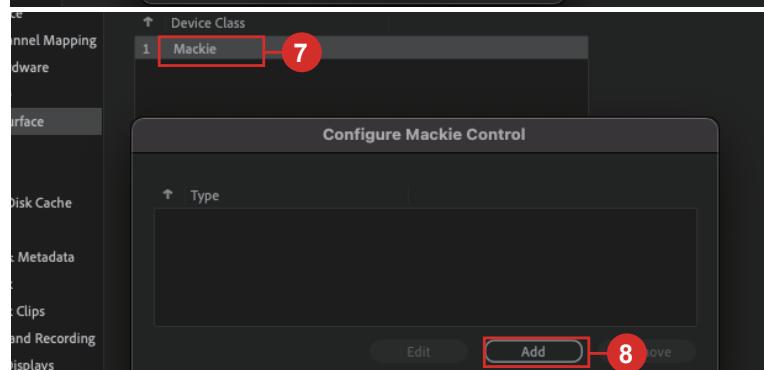
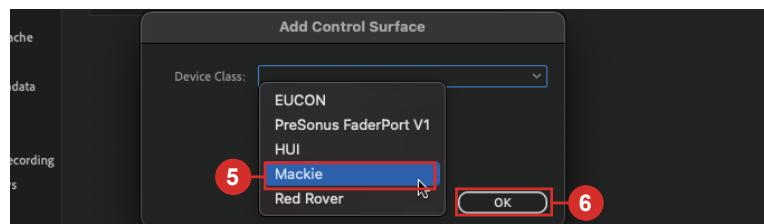
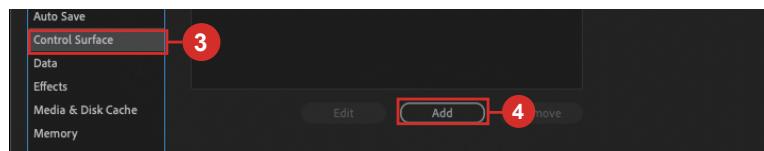
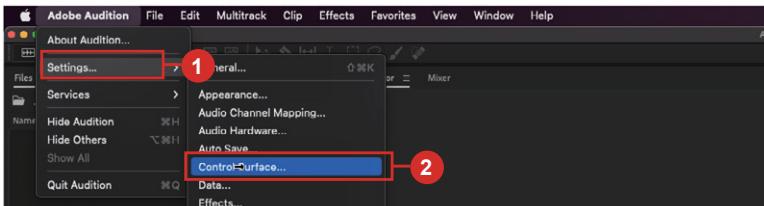
**ステップ5:** ファームウェアのアップデートが完了したら、「ok」を押してください。



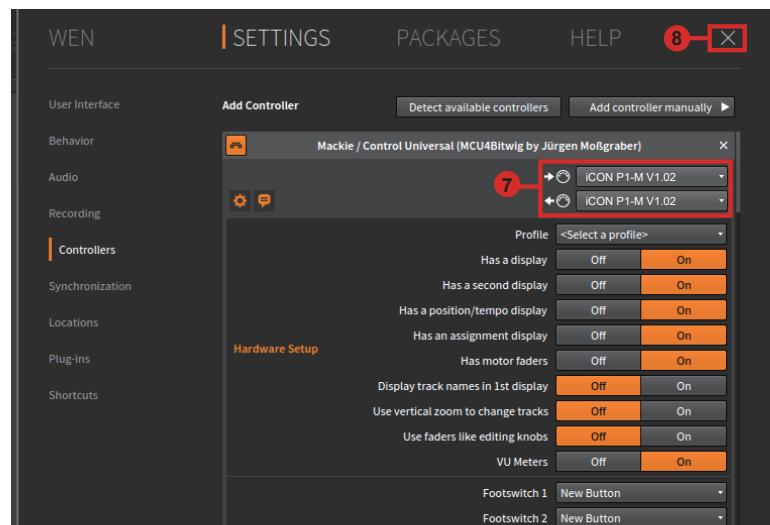
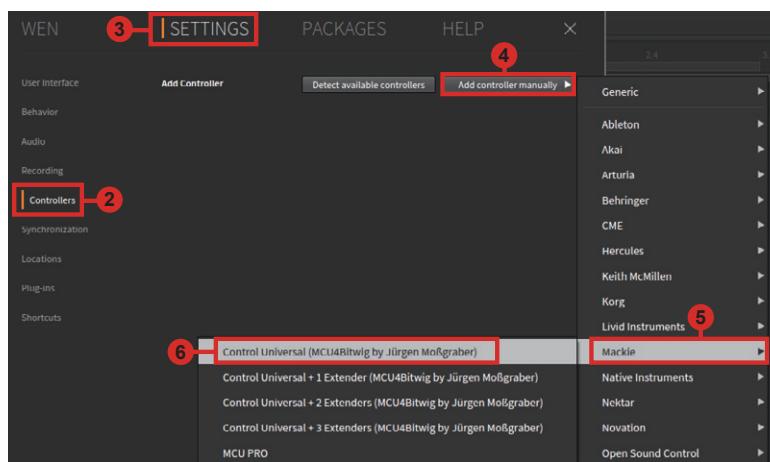
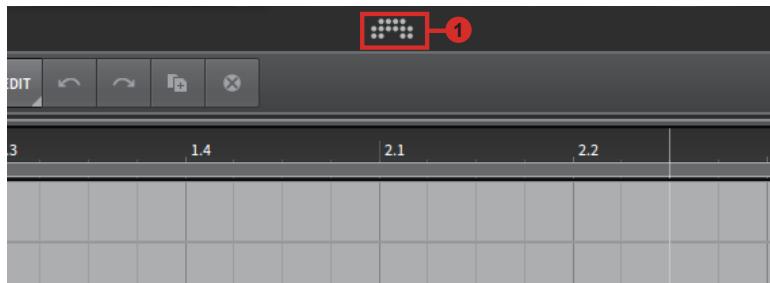
# Ableton Live



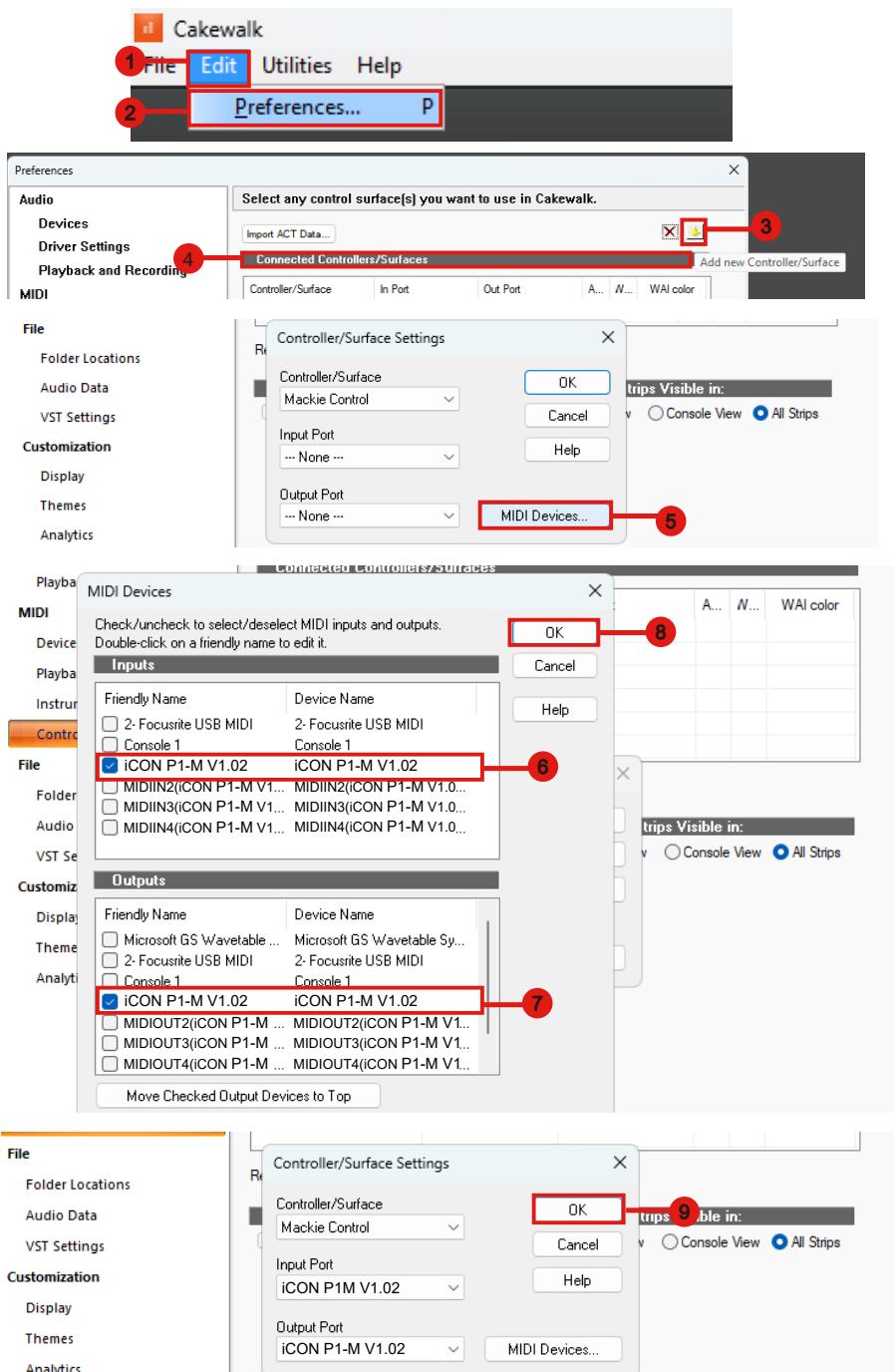
# Audition

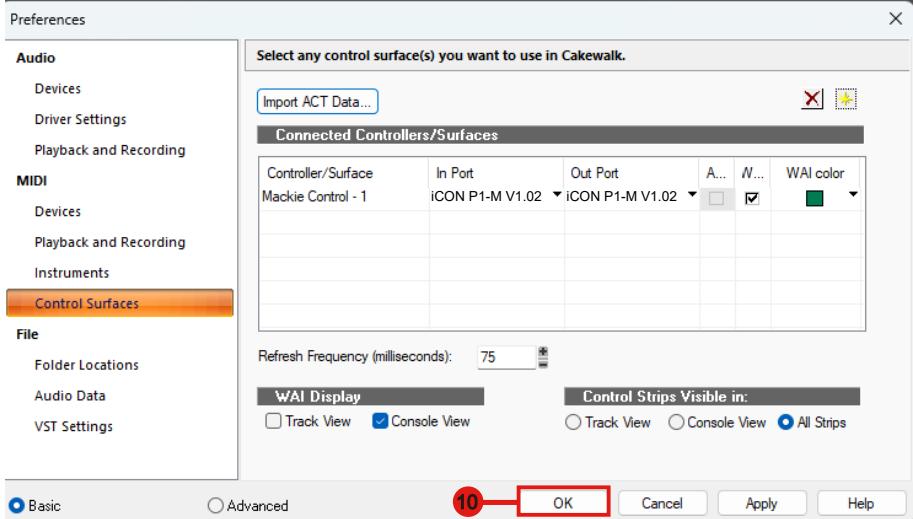


# Bitwig

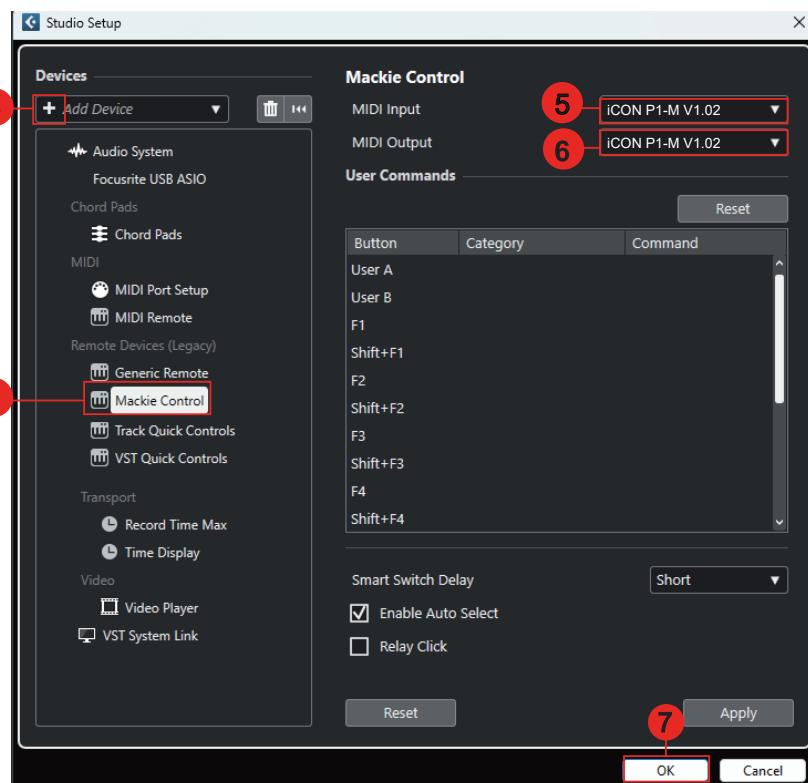
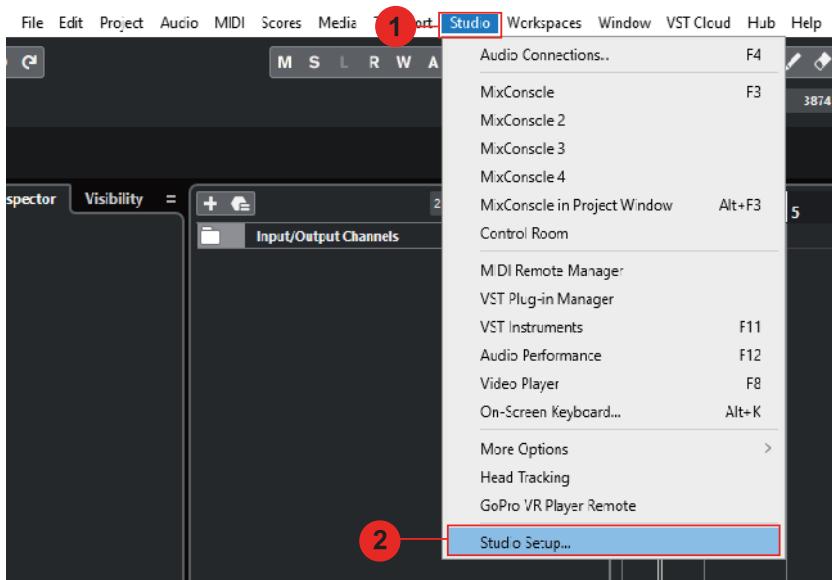


# Cakewalk

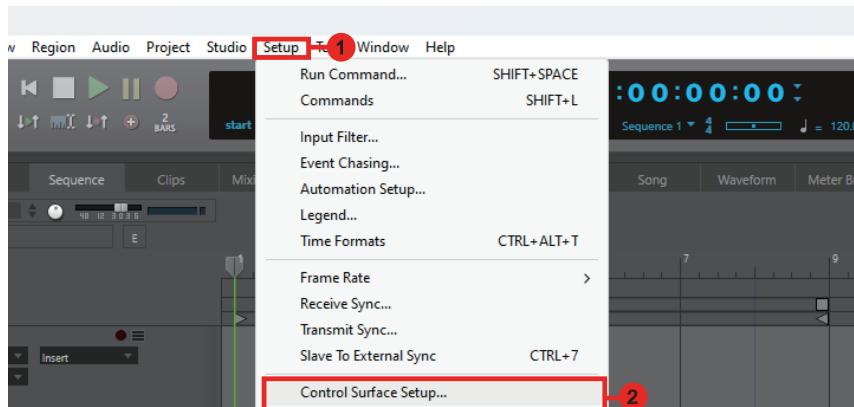




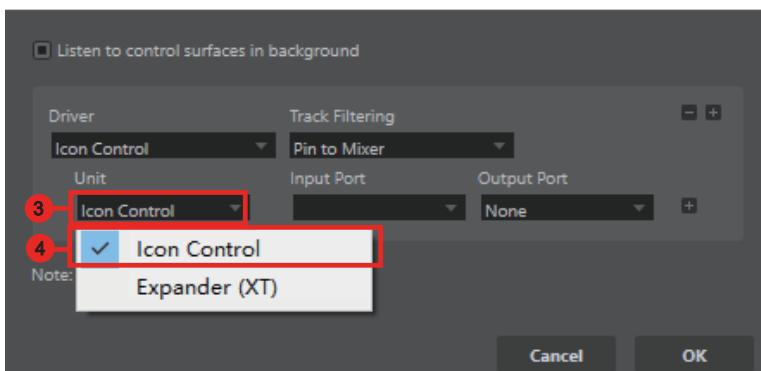
# Cubase/Nuendo



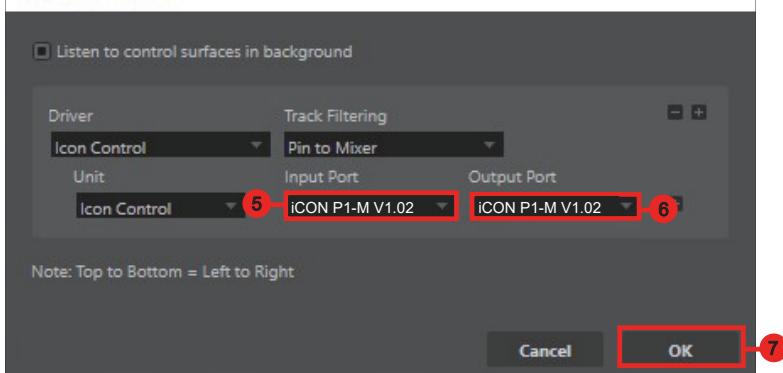
# Digital Performer 11



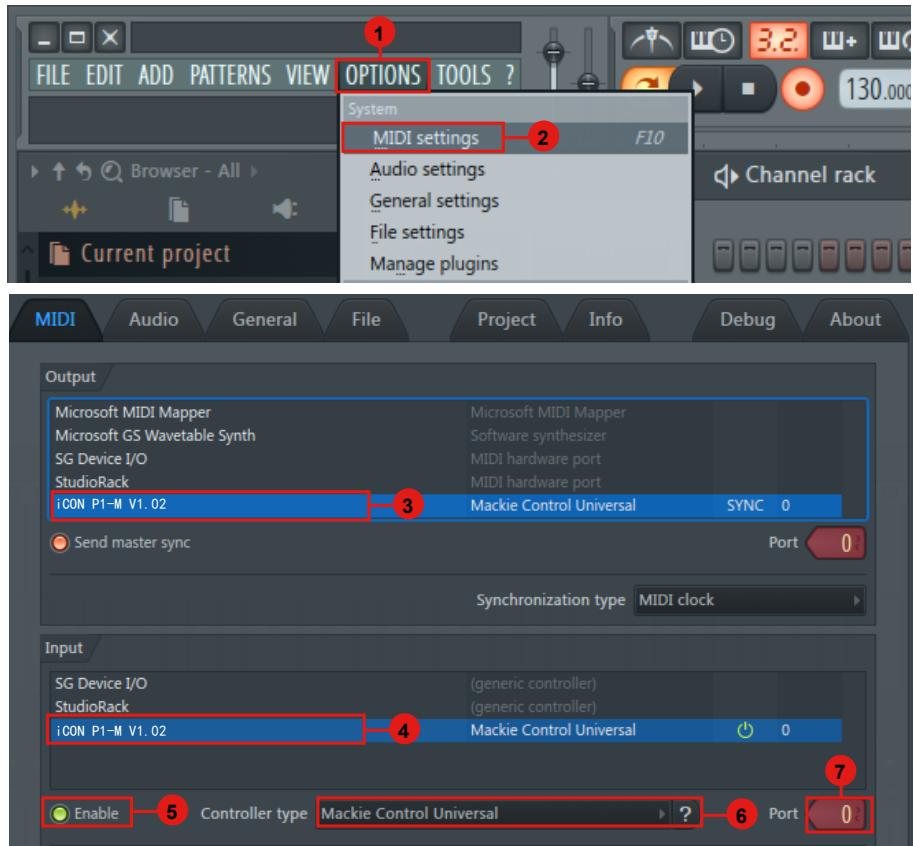
## Control Surface



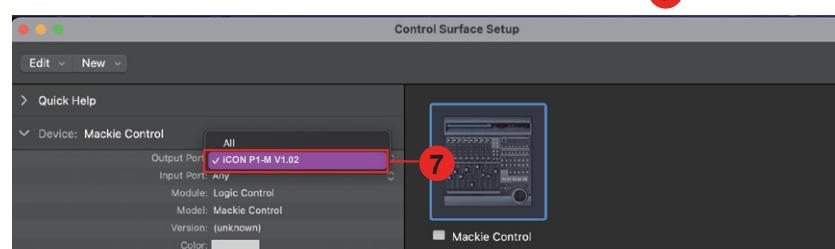
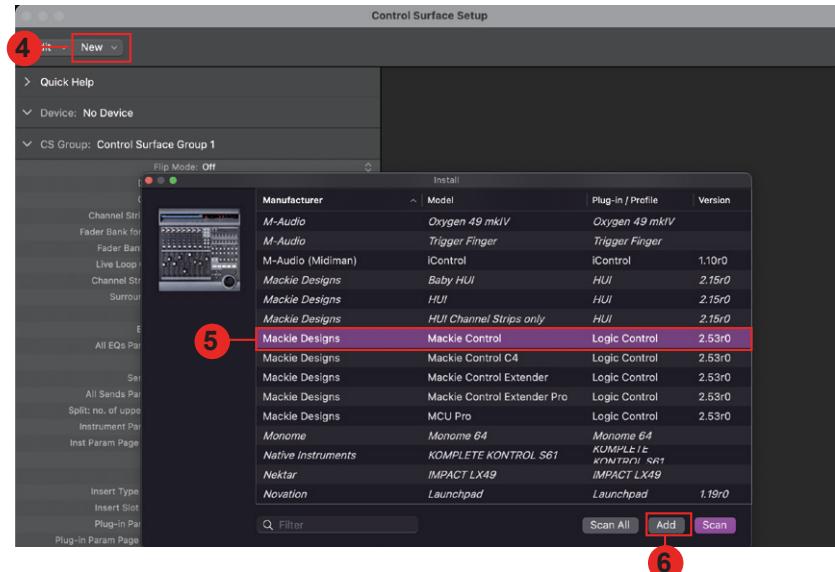
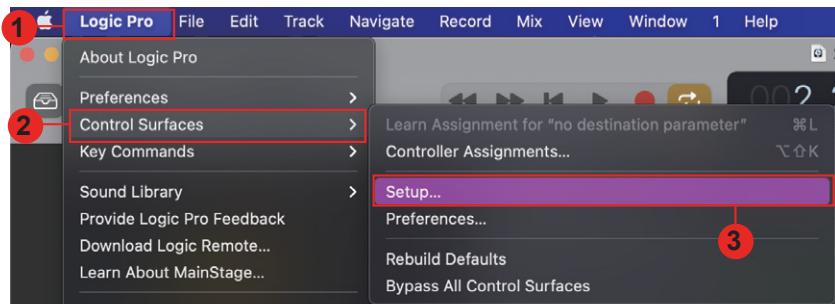
## Control Surface



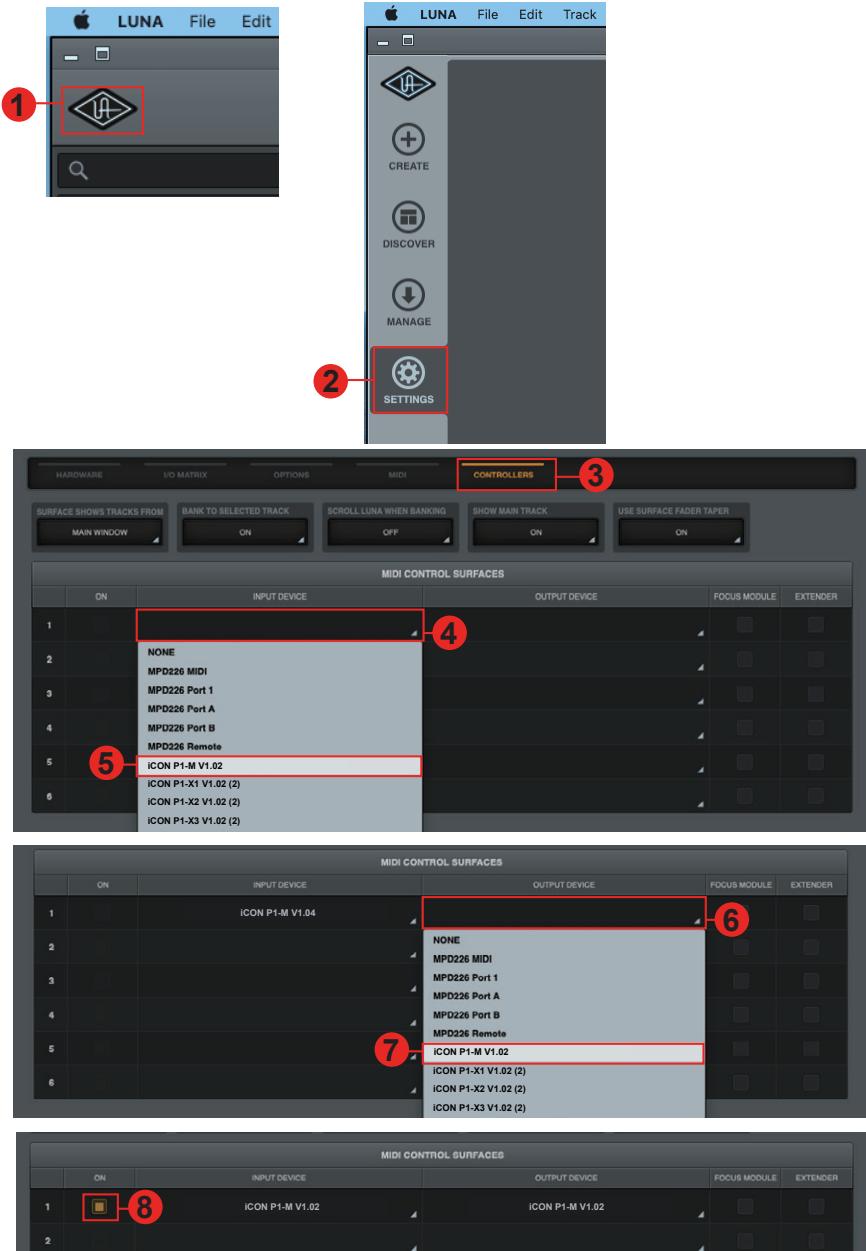
# FL Studio



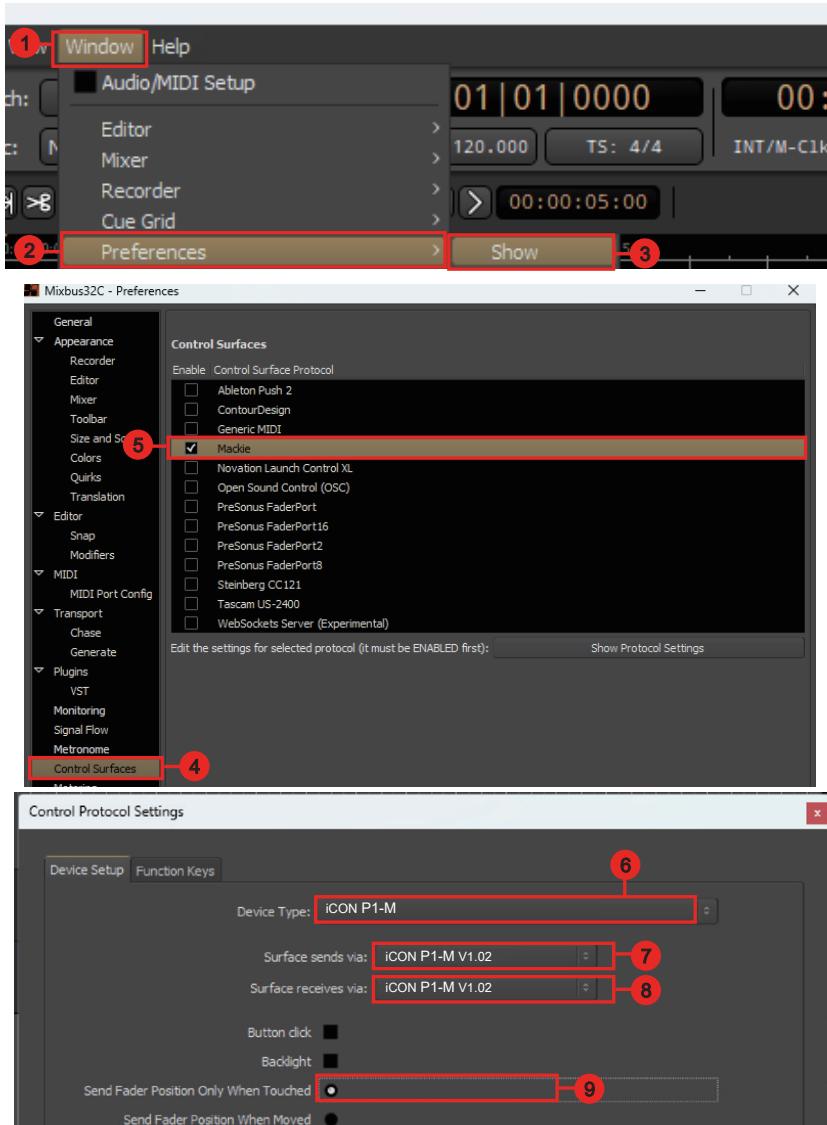
# Logic Pro



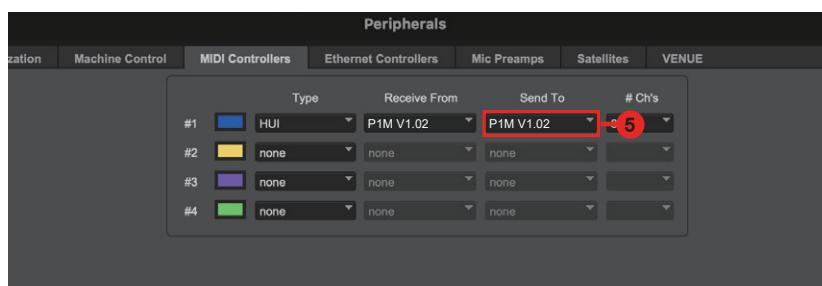
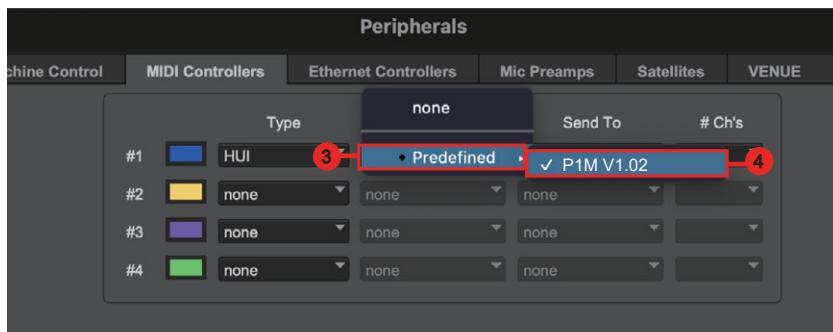
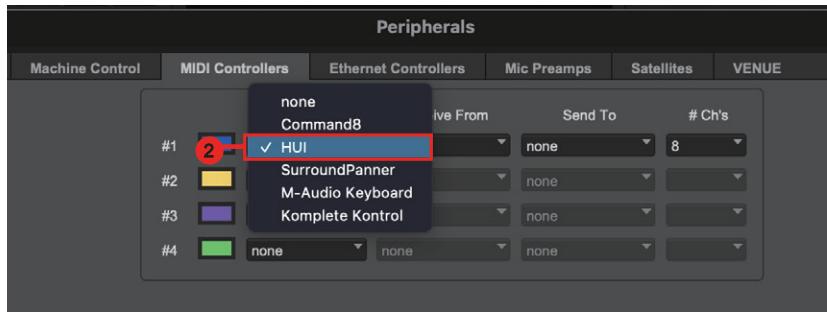
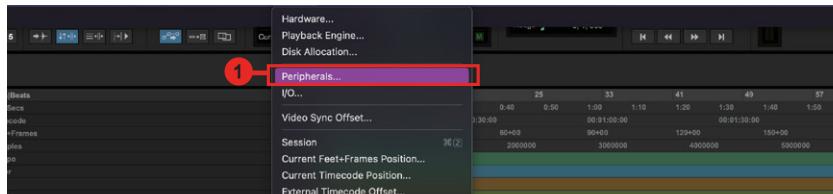
# Luna



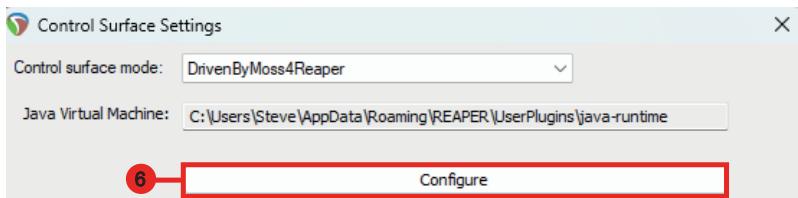
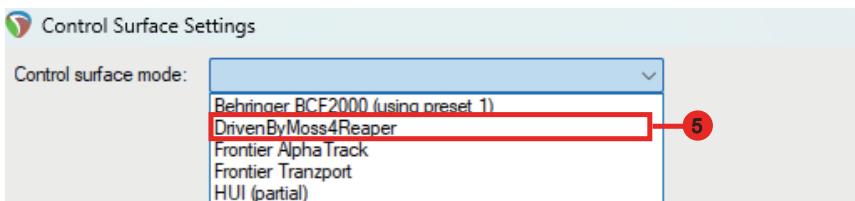
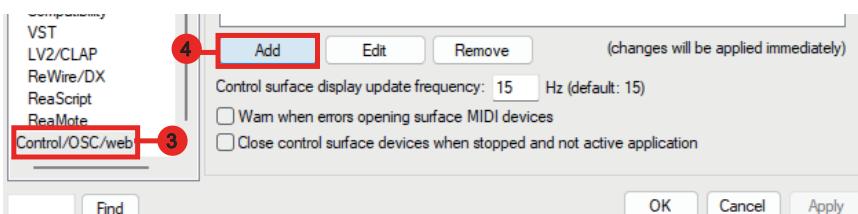
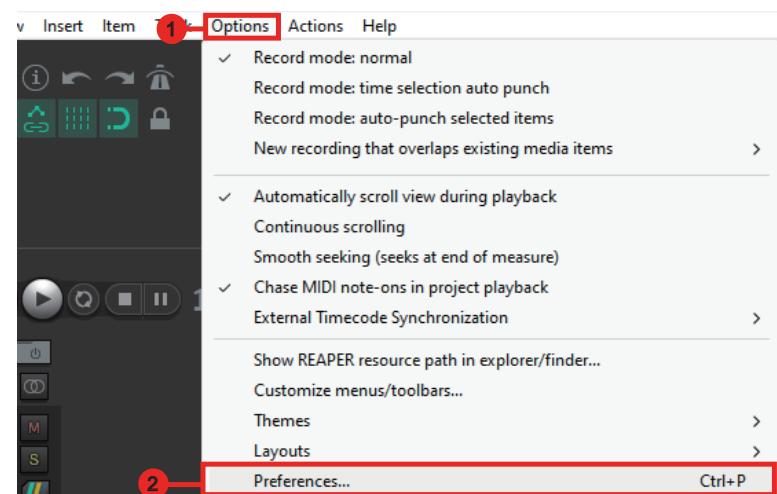
# Mixbus 32C

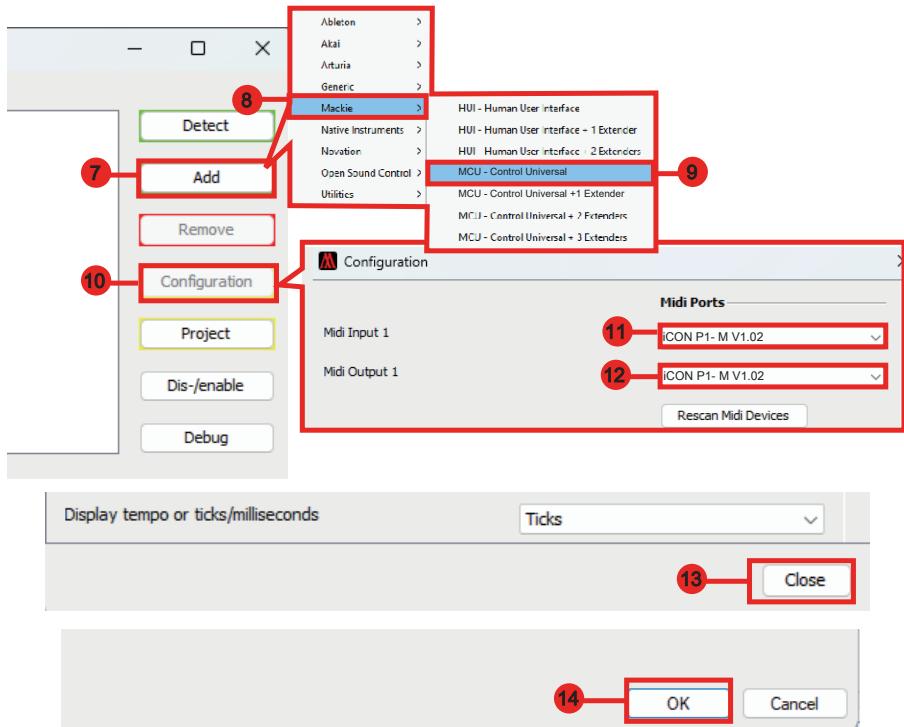


# Pro Tools

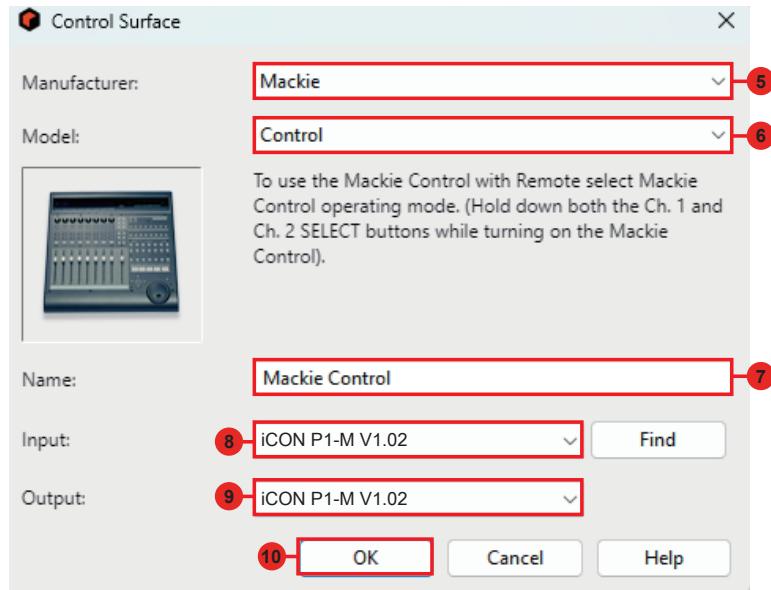
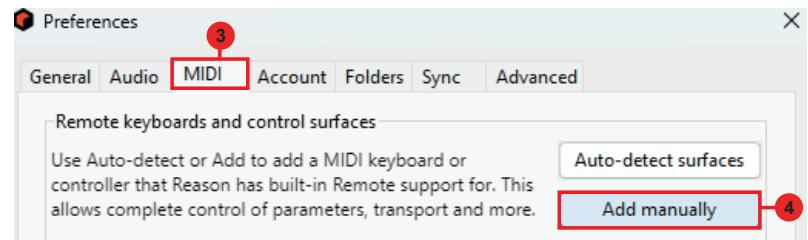
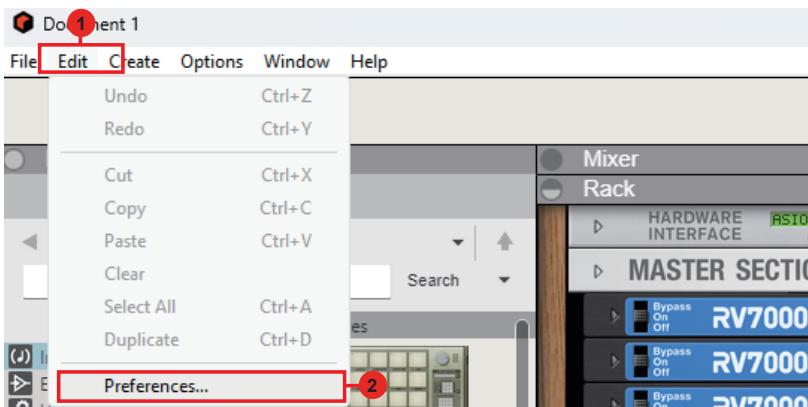


# Reaper

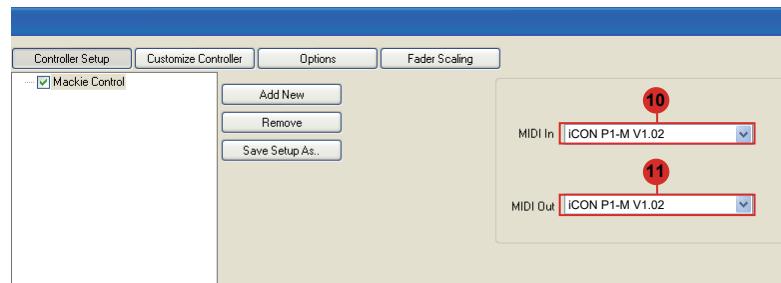
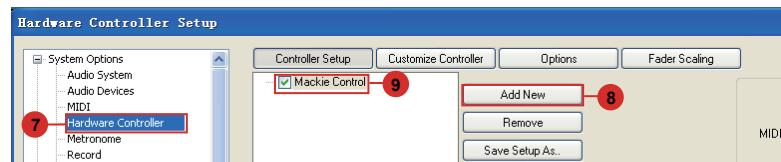
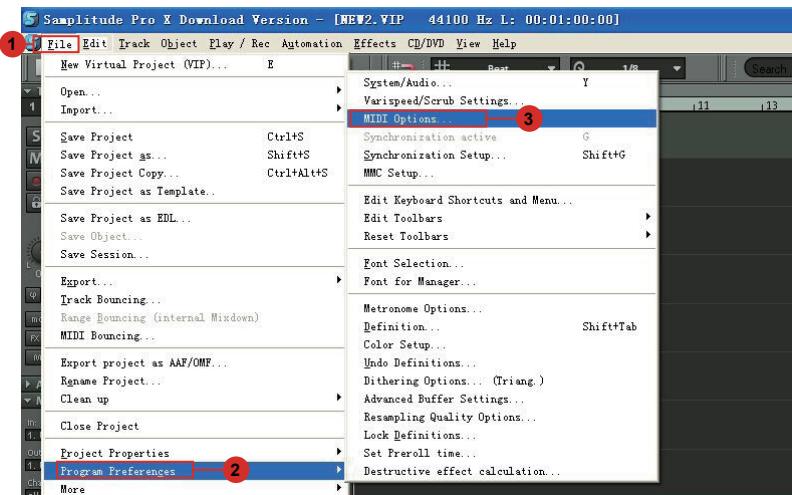




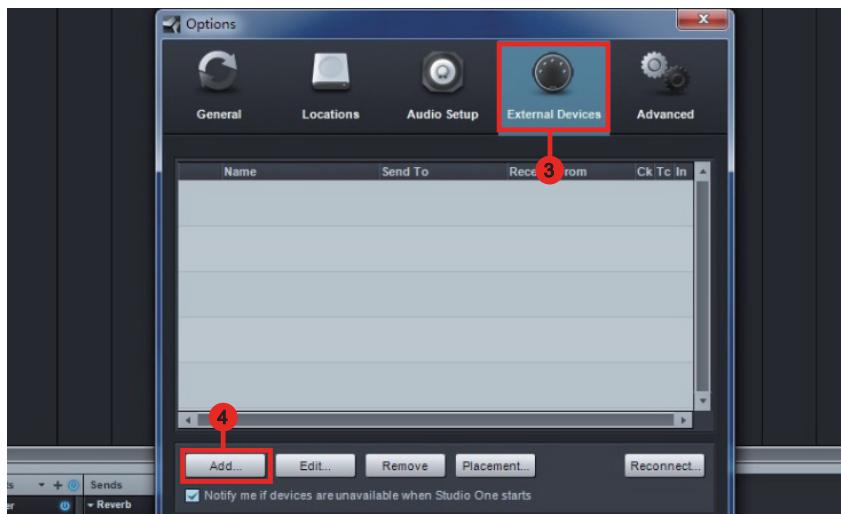
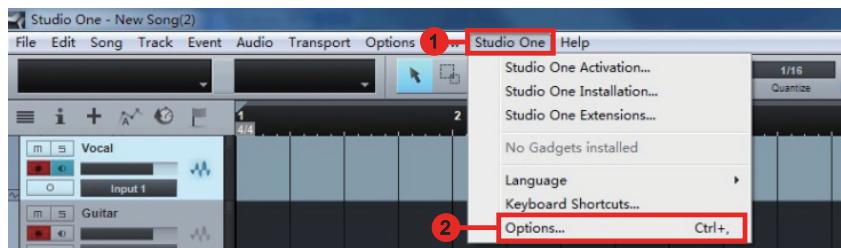
# Reason



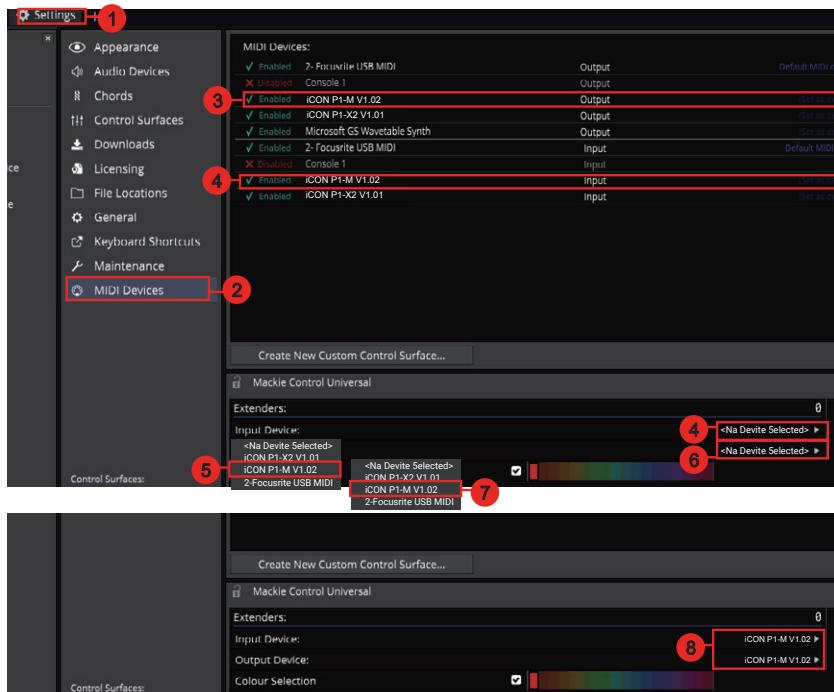
# Samplitude



# Studio One

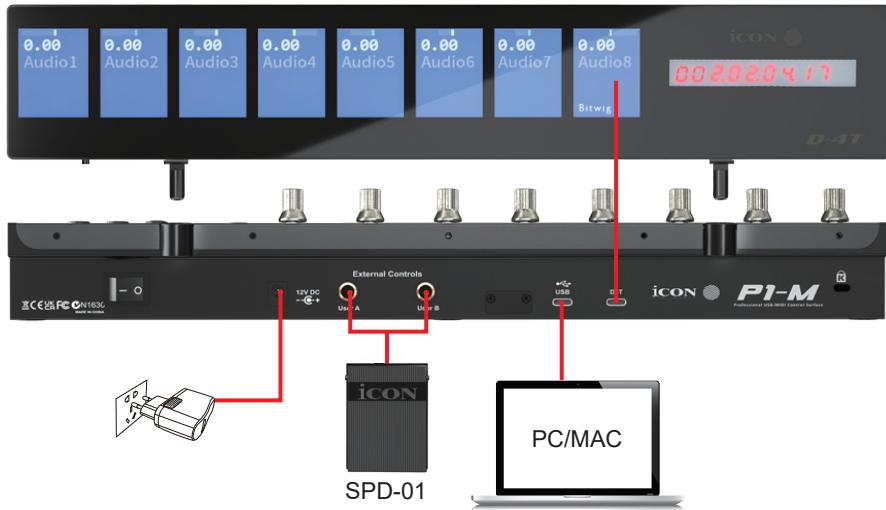


# Tracktion Waveform



# ハードウェアの接続

D4T



Cubase でユーザーA、ユーザーB を設定します（フットペダル）；

The screenshot shows the 'Studio Setup' window in Cubase. In the 'Devices' section, 'Mackie Control' is selected from the dropdown menu. The 'Mackie Control' section contains two dropdown menus: 'MIDI Input' set to 'MIDIIN2 (P1-MV1.00)' and 'MIDI Output' set to 'MIDIOUT2 (P1-M V1.00)'. Below these are 'User Commands' settings. A table lists buttons and their assignments:

Button	Category	Command
User A	Transport	Record
User B		
F1		
Shift+F1		
F2		
Shift+F2		

A red box highlights the 'User A' button in the table. Red arrows point from the text 'choose desired function from drop down lists' to the 'MIDI Input' and 'MIDI Output' dropdowns, and another arrow points from the text to the 'User A' button in the table.

現在、P1-MのようなDAWコントローラで足踏みスイッチを使用できるDAWは少数しかサポートされていません。DAWのユーザーズマニュアルを参照して、DAWにこの機能があるかどうかを確認してください。もしそうであれば、DAW固有のコマンドを選択して足踏みスイッチをプログラムすることができます。たとえば、上記の例に示すように、「ログ」機能をオンまたはオフにします。

# システムを拡張

## D-4T 表示ユニット



P1-M ディスプレイ機能は D-4T ディスプレイユニットで拡張が可能です。

- 非常にコンパクトで耐久性に優れています
- P1-M MIDI DAW 制御器の取り付けはものすごく簡単です。磁気付きの固定装置なので、挿入したらしいです。
- 各チャンネルのチャンネル名、制御値、メーターなどを表示する大型 2 inch TFT ディスプレイを搭載しています。
- ディスプレイに表示しているチャンネルカラー (DAW による)。プロジェクトを処理する際にとても使いやすいです。例えば、ギターは赤、ドラムは青など。
- SMPTE または BBT フォーマットで、プロジェクトの時間軸を表示する 10 セグメント LED ディスプレイ。
- チルト角度の調節が可能で、さまざまな視聴ポジションに対応
- 堅牢な構造です。
- マグネット式「スロットイン」フィックスチャーチの採用します。
- 付属の人間工学に基づいた USB C ケーブルで接続します。
- 鮮明で詳細な表示を実現します。
- 下の「バー」表示は DAW チャンネルのカラーモードを表します。カラーごとに楽器の曲をグループ分けにしたい時にとても役立ちます。例えばギター曲は紫、ドラム曲は黄色など。

\* 現時点ではこれができる DAW はわずかです。



P1-M は拡張可能で、魅力的な D-4T 表示ユニットだけではなく、P1-X の拡張ユニットもあります。

各ユニットに八つの 12 ビットの減衰器、八つのスムーズなロータリーコーディングノブとチャンネルごとの四つのボタンからなり、録音、ミュート、ソロがあります。

P1-X は P1-M と協力して録音とミキシング体験を高め、更なる減衰器は制御を手先にすることです。

新しい拡張器を追加するなら、P1-X に D4 表示ユニットを追加しないですか。そのユニットは 2 インチの大きい TFT 表示ディスプレイを持ち、各チャンネルの名称、カラー、制御値などを表示できます。



## 製品仕様

接続端子：	コンピューター出力	USB C connector
電源供給：		12 V/2. 5A DC
消費電力：		2. 0A or less
重量：		1.916 kg (4.23lb)
寸法：		405(L) x 204(W) x 61(H)mm 15. 9"(L) x 8"(W) x 2. 4"(H)

# 修理について

本製品の修理が必要な場合は、以下の手順に従ってください。

以下のような情報、知識、ダウンロードについては、当社のオンラインヘルプセンター (<http://support.iconproaudio.com/hc/en-us>) でご確認ください。

1. FAQ (よくあるご質問)

2. ダウンロード

3. 詳細情報

4. フォーラム

必要な情報のほとんどが、こちらのページに記載されています。お探しの情報が見つからない場合は、下のリンクからオンライン ACS (自動カスタマーサポート) でサポートチケットを作成してください。当社のテクニカルサポートチームがお手伝いいたします。  
<http://support.iconproaudio.com/hc/en-us> にアクセスしてサインインし、チケットをお送りください。ただし、「Submit a ticket」をクリックするとサインインの必要はありません。

照会チケットをお送りいただくと、弊社サポートチームが、ICON ProAudio デバイスの問題をでき限り早く解決できるようにお手伝いいたします。

不良品を修理・交換のために返送する場合：

1. 問題の原因が誤操作や外部システムデバイスではないことを確認してください。
2. 弊社にて修理の際、本書は不要ですので、お手元に保管してください。
3. 同梱の印刷物等や箱など、購入時の梱包材で本製品を梱包してください。梱包材がない場合は、必ず適切な梱包材で梱包してください。工場出荷時の梱包材以外の梱包材が原因で発生した損害について、弊社では責任を負いかねます。
4. 弊社サービスサポートセンターまたは地区内の正規サービスセンターに本製品を送付してください。. 下のリンクから、当社のサービスセンターおよび販売店の所在地をご覧ください：

北米 にお住まいの場合は、  
製品をこちらまで返送してください：

**North America**  
**Mixware, LLC – U.S. Distributor**  
**3086 W. POST RD.**  
**LAS VEGAS NV 89118**  
**Tel.: (818) 578 4030**  
**Contact: [www.mixware.net/help](http://www.mixware.net/help)**

ヨーロッパにお住まいの場合は、  
製品をこちらまで返送してください：

**Sound Service**  
**GmbHEuropean**  
**HeadquarterMoritz-Seeler-Straße**  
**3D-12489 Berlin**  
**Telephone: +49 (0)30 707 130-0**  
**Fax: +49 (0)30 707 130-189**  
**E-Mail: [info@sound-service.eu](mailto:info@sound-service.eu)**

香港にお住まいの場合は、  
製品をこちらまで返送してください：  
**ASIA OFFICE:**

**Unit F, 15/F., Fu Cheung Centre,**  
**No. 5-7 Wong Chuk Yueng Street,**  
**Fotan,**  
**Sha Tin, N.T., Hong Kong.**  
**Tel: (852) 2398 2286**  
**Fax: (852) 2789 3947**  
**Email: [info.asia@icon-global.com](mailto:info.asia@icon-global.com)**



iCON  
Pro Audio



天猫官方旗舰店



天猫店iconproaudio旗舰店

抖音号



抖音号ICON艾肯

哔哩哔哩



B站iCONProAudio

微信公众号



微信号iCON-PRO

官方售后QQ



4006311312.114@qq.com

Twitter



[www.twitter.com/iconproaudio](http://www.twitter.com/iconproaudio)

Instagram



[www.instagram.com/iconproaudio](http://www.instagram.com/iconproaudio)

Facebook



[www.facebook.com/iconproaudio](http://www.facebook.com/iconproaudio)

Youtube



[www.youtube.com/iconaudio](http://www.youtube.com/iconaudio)

Website



[www.iconproaudio.com](http://www.iconproaudio.com)

Support



[support.iconproaudio.com](http://support.iconproaudio.com)

Dashboard



[iconproaudio.com/dashboard/](http://iconproaudio.com/dashboard/)

[www.iconproaudio.com](http://www.iconproaudio.com)